

資料編

資格別概況(85資格区分)

資格区分	ページ	クレーン・デリック運転士	142
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	58	普通自動車免許(二種)	144
技能士(オフィス、サービス関連分野)	60	大型自動車免許	146
技術士	62	自動車整備士	148
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	64	建築士	150
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	66	測量士	152
介護福祉士	68	電気工事士	154
介護支援専門員(ケアマネージャー)	70	電気主任技術者	156
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	72	施工管理技士	158
福祉用具専門相談員	74	宅地建物取引主任者	160
精神保健福祉士	76	不動産鑑定士	162
社会福祉士	78	土地家屋調査士	164
保育士	80	マンション管理士	166
看護師、准看護師	82	基本情報技術者	168
保健師	84	応用情報技術者	170
助産師	86	日商PC検定	172
理学療法士	88	IT関連企業の能力認定	174
作業療法士	90	簿記	176
言語聴覚士	92	公認会計士	178
臨床検査技師	94	税理士	180
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	96	証券アナリスト	182
柔道整復師	98	ファイナンシャル・プランナー	184
救急救命士	100	中小企業診断士	186
臨床工学技士	102	社会保険労務士	188
診療放射線技師	104	弁理士	190
歯科衛生士	106	司法書士	192
歯科技工士	108	行政書士	194
薬剤師	110	産業カウンセラー	196
登録販売者	112	キャリアコンサルタント	198
栄養士、管理栄養士	114	通関士	200
調理師	116	販売士	202
製菓衛生師	118	消費生活アドバイザー	204
理容師	120	秘書検定	206
美容師	122	医療事務	208
食品衛生管理者	124	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	210
色彩検定	126	通訳案内士	212
溶接技能者	128	旅行業務取扱管理者	214
危険物取扱者	130	司書	216
ボイラー技士	132	学芸員	218
安全管理者	134	幼稚園教諭	220
衛生管理者	136	小学校教諭	222
玉掛け技能者	138	臨床心理士	224
フォークリフト技能者	140	専門職大学院学位	226

◇資格別概況表の見方

一部の資格についてはまとめた区分としてサンプルを収集しており、分野や等級が分かれる資格についても一括した区分としている。また、制度や名称の変更があった場合には、旧資格に対応する現行資格に位置づけている。したがって、レベルや位置づけが異なる資格が同一区分に含まれている場合があることに留意の上、データを参照いただきたい。

【回答者の属性】

学歴欄の「その他」には、中退、在学中を含む。

就業状態の「正規比率」は、雇用者のうち「正社員」の割合

- ・SAは単一回答、MAは複数回答
- ・①～⑮について、「その他」のデータは省略

【資格取得時の状況】

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

第5位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

第3位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨～⑪ サンプル数が20未満の場合は実数を掲載(斜字)

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

スクリーニング時に、「所持している資格」として資格一覧から2つ以上の資格区分をチェックした場合についてカウントしている。このため、例えば一級建築士と二級建築士のように、同じ資格区分で等級等の異なる資格を所持していても、ここでは複数資格所持者としてカウントされていない。

また、複数資格を所持している人については、原則として最も重視している資格を1つ選び、その資格について本調査の質問に回答してもらうという流れで実施した。資格別概況表は各資格区分で回答した人についての集計であるので、その資格を所持していても他の資格区分で回答した人の数は含まない。

他の主な所持資格

所持していると回答があった他の資格のうち、原則として資格別集計の対象とした資格区分について、主なものを掲載した。各資格区分のサンプル数や他資格所持者の数に応じ、掲載対象とした下限人数は異なる。

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中あるいは検討中と回答した人の割合(複数回答)

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順にトップ3)

第3位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

各資格区分の回答者の属性や資格取得時の状況、在職中に資格を取得した場合の職場との関係や働き方等の変化、資格取得に対する自己評価等について、特徴的な点を中心に要約した。

あくまで本調査の回答者のデータにみる傾向であり、サンプル数が少ない資格区分もあるため、当該資格の一般的状況を表わすものではないという点に留意いただきたい。

技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (54人)

性別	男性	87.0	女性	13.0						
年齢	20代	3.7	30代	9.3	40代	29.6	50代	31.5	60代以上	25.9
学歴	高校卒	37.0	短大・専修等卒	16.7	大学卒	37.0	大学院卒	3.7	その他	5.6
就業状態	雇用者	68.5	(正規比率	89.2)	自営	9.3	不就業	20.4	不明	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期 SA N=54

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.9%	90.7%	1.9%	5.6%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5) MA N=54

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	自分の能力や可能性を 試したかったから
64.8%	25.9%	25.9%	16.7%	14.8%

③資格の魅力、メリット MA N=54

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
7.4%	5.6%	68.5%	22.2%	16.7%	7.4%	-	5.6%

④学習を始める前の準備 MA N=54

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
27.8%	-	18.5%	16.7%	-	5.6%	38.9%

⑤資格取得に要した期間 SA N=54

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.9%	29.6%	18.5%	14.8%	3.7%	7.4%

⑥資格取得の主な勉強方法 SA N=54

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.7%	-	9.3%	7.4%	-	38.9%	3.7%	37.0%

⑦利用した経済的支援 MA N=54

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	13.0%	-	31.5%	51.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」) MA N=54

仕事との両立	費用の負担、勉強や通学の時間、家庭との両立、 実際に役立つか	特にない
40.7%	5.6%	44.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=49

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
44.9%	40.8%	-	4.1%	6.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=49

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.2%	4.1%	10.2%	12.2%	18.4%	-	2.0%	57.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=49

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.2%	8.2%	8.2%	2.0%	73.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=54

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
16.7%	61.1%	16.7%	5.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=42

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.2%	23.8%	14.3%	4.8%	2.4%	2.4%	-	2.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.4%

N= 54

他の主な所持資格(4名以上)

フォークリフト技能者、溶接技能者、普通自動車免許(二種)、電気工事士、危険物取扱者、玉掛け技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 14.8%

N=54

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

専門的・技術的職業	管理的職業	生産工程の職業
40.5%	23.8%	21.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。資格取得時期は在職時が9割。資格取得の動機として3人に2人が「仕事上有利」をあげ、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」をあげる人が7割弱と突出して多い。主な勉強方法としては「勤務先の勉強会、OJT」が最も多く、3割の人が費用に関して「勤務先の補助や貸付制度」を利用している。職場が積極的に応援してくれたという割合は比較的高く、「表彰された」人が1割強。収入面の変化はあまり大きくない。総合的評価は「どちらかというプラス」が約6割。

技能士(オフィス、サービス関連分野)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 29人

性別	男性	79.3	女性	20.7						
年齢	20代	-	30代	20.7	40代	41.4	50代	31.0	60代以上	6.9
学歴	高校卒	27.6	短大・専修等卒	10.3	大学卒	51.7	大学院卒	6.9	その他	3.4
就業状態	雇用者	82.8	(正規比率	95.8)	自営	10.3	不就業	6.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期 SA N=29

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.4%	93.1%	-	3.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5) MA N=29

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
51.7%	48.3%	24.1%	24.1%	24.1%

③資格の魅力、メリット MA N=29

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
3.4%	13.8%	62.1%	37.9%	31.0%	27.6%	6.9%	6.9%

④学習を始める前の準備 MA N=29

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
41.4%	3.4%	3.4%	-	3.4%	17.2%	44.8%

⑤資格取得に要した期間 SA N=29

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
24.1%	24.1%	20.7%	17.2%	10.3%	3.4%

⑥資格取得の主な勉強方法 SA N=29

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.4%	10.3%	-	10.3%	10.3%	6.9%	-	58.6%

⑦利用した経済的支援 MA N=29

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	3.4%	86.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」) MA N=29

仕事との両立	勉強や通学のための時間	相談相手やアドバイザーがいない	特にない
37.9%	17.2%	17.2%	41.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.4%	44.4%	-	33.3%	11.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	3.7%	3.7%	14.8%	7.4%	-	70.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3.7%	3.7%	-	92.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=29

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
24.1%	51.7%	13.8%	10.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=22

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
59.1%	18.2%	4.5%	-	-	-	9.1%	4.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

82.8%

N= 29

他の主な所持資格(3名以上)

ファイナンシャル・プランナー、簿記、行政書士、危険物取扱者、衛生管理者、フォークリフト技能者、宅地建物取引主任者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 34.5%

検討中 31.0%

N=29

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=27

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
37.0%	25.9%	22.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約4:1。雇用者比率、正規比率が高い。資格取得の動機として5割強が「自分の勉強や自己啓発」次いで5割弱が「仕事上有利」をあげ、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」をあげる人が6割強と多い。ものづくり系の技能士と異なり、職場の応援を受けるケースは少なく、処遇との結びつきも弱く、資格取得が個人の活動となっている傾向がうかがえる。総合的評価としては肯定的な判断をする人が多く、今後新たな資格取得活動を予定している人の割合が高い。

技術士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 44人

性別	男性	97.7	女性	2.3						
年齢	20代	-	30代	6.8	40代	31.8	50代	25.0	60代以上	36.4
学歴	高校卒	2.3	短大・専修等卒	6.8	大学卒	52.3	大学院卒	36.4	その他	2.3
就業状態	雇用者	84.1	(正規比率	86.5)	自営	9.1	不就業	6.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	肩書きや呼称があると よいと思ったから	より高度な仕事をした いと思ったから	勤め先からの要請や 勸奨があったから
61.4%	45.5%	34.1%	29.5%	27.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
15.9%	59.1%	63.6%	22.7%	6.8%	9.1%	9.1%	2.3%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
31.8%	4.5%	38.6%	22.7%	-	6.8%	25.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	11.4%	20.5%	29.5%	9.1%	22.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	2.3%	-	2.3%	6.8%	9.1%	4.5%	72.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.3%	2.3%	9.1%	77.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
47.7%	20.5%	15.9%	29.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=44

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
11.4%	61.4%	2.3%	9.1%	13.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=44

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.2%	4.5%	6.8%	6.8%	25.0%	2.3%	15.9%	47.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=44

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
18.2%	6.8%	15.9%	6.8%	61.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
38.6%	47.7%	9.1%	4.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.6%	15.8%	13.2%	5.3%	15.8%	-	2.6%	10.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

68.2%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

施工管理技士、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、宅地建物取引主任者、基本情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 25.0%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=41

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、販売・営業の職業、サービスの職業、建設の職業、その他の職業
58.5%	29.3%	2.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。雇用者比率、正規比率が高く、不就業が少ない。働きながら資格取得した人が100%。資格取得動機としては「仕事上有利」が6割超、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」6割超に続いて「社会的評価が高い」も約6割の人があげている。職場からは特別な支援を受けていない人が大半であるが、「周囲からの評価が高まった」「社内で昇進・昇格」「祝い金や報奨金が出た」など働き方等に反映されるケースも比較的多く、総合的な評価は肯定的な割合が高い。

訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (111 人)

性別	男性	35.1	女性	64.9						
年齢	20代	1.8	30代	17.1	40代	26.1	50代	34.2	60代以上	20.7
学歴	高校卒	34.2	短大・専修等卒	22.5	大学卒	37.8	大学院卒	1.8	その他・不明	3.6
就業状態	雇用者	65.8	(正規比率	37.0)	自営	5.4	不就業	26.1	その他・不明	2.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=111

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.6%	41.4%	13.5%	33.3%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=111

いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	資格が必要な職業に 就くため
32.4%	30.6%	27.9%	27.9%	27.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=111

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
22.5%	4.5%	18.9%	12.6%	11.7%	21.6%	31.5%	41.4%

④学習を始める前の準備

MA N=111

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
41.4%	11.7%	8.1%	2.7%	1.8%	20.7%	36.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=111

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
40.5%	48.6%	10.8%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=111

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
9.0%	55.9%	11.7%	12.6%	5.4%	0.9%	-	2.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=111

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	11.7%	1.8%	7.2%	62.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=111

仕事との両立	学費、教材費など 費用の負担	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
22.5%	19.8%	18.9%	35.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=46

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.7%	32.6%	4.3%	19.6%	19.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=46

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	8.7%	2.2%	-	8.7%	8.7%	4.3%	69.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=46

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	6.5%	6.5%	6.5%	78.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=111

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
18.0%	55.9%	17.1%	9.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=82

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
18.3%	11.0%	2.4%	6.1%	2.4%	4.9%	22.0%	30.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

9.9%

N=111

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.8%

検討中 28.8%

N=111

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=81

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
43.2%	22.2%	12.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。求職活動をしながら資格を取得した人の割合が調査対象資格区分の中で最も高い。取得動機について、「就職活動に役立てる」という回答割合が平均より高いが、「いずれ何かの役に立つかも」、「自分の勉強や自己啓発」という中長期的な目的をあげる回答がそれを上回る。「資格が比較的容易」という点が魅力・メリットと感じられており、介護分野での入門資格として、とりあえず取得した人も多い傾向がうかがえる。総合的評価は「どちらかというプラス」が半数強。

訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (65人)

性別	男性	53.8	女性	46.2						
年齢	20代	1.5	30代	24.6	40代	35.4	50代	29.2	60代以上	9.2
学歴	高校卒	29.2	短大・専修等卒	30.8	大学卒	30.8	大学院卒	1.5	その他・不明	7.7
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	65.4)	自営	6.2	不就業	10.8	その他・不明	3.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=65

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
9.2%	44.6%	16.9%	29.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=65

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため
32.3%	32.3%	29.2%	21.5%	16.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=65

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
20.0%	7.7%	26.2%	18.5%	32.3%	12.3%	24.6%	18.5%

④学習を始める前の準備

MA N=65

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
40.0%	12.3%	6.2%	4.6%	1.5%	13.8%	47.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=65

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
10.8%	38.5%	41.5%	4.6%	3.1%	1.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=65

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
21.5%	27.7%	33.8%	6.2%	4.6%	-	-	4.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=65

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	21.5%	4.6%	6.2%	46.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=65

学費、教材費など 費用の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
26.2%	21.5%	12.3%	38.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=29

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
34.5%	41.4%	3.4%	6.9%	10.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=29

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
24.1%	13.8%	3.4%	-	13.8%	17.2%	13.8%	34.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=29

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.4%	10.3%	37.9%	3.4%	58.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=65

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
30.8%	47.7%	12.3%	9.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.4%	19.6%	5.9%	11.8%	5.9%	2.0%	9.8%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

78.5%

N= 65

他の主な所持資格(5名以上)

訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修、介護福祉士、普通自動車免許（二種）、介護支援専門員（ケアマネージャー）、移動支援従業者（ガイドヘルパー）、簿記、社会福祉士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 27.7%

検討中 33.8%

N=65

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=57

サービスの職業	専門的・技術的職業	管理的職業、事務的職業
40.4%	29.8%	8.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。求職活動中に資格を取得した人の割合が訪問介護員 2 級に次いで高い。資格取得動機では、「仕事上有利」「就職活動に役立てる」が上位にきており、就業と関連する目的意識がより明確となっている。在職中に資格取得した人の場合、「社内で昇進・昇格」、「転職・独立」、「資格手当がついた」とする割合が高く、資格を取得したことが、働き方や処遇、収入面に反映されやすい傾向がみられる。新たな資格取得を予定している人の割合が高い。総合的評価は 8 割弱が肯定的。

介護福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (68人)

性別	男性	35.3	女性	64.7						
年齢	20代	1.5	30代	29.4	40代	39.7	50代	29.4	60代以上	-
学歴	高校卒	22.1	短大・専修等卒	41.2	大学卒	32.4	大学院卒	-	その他	4.4
就業状態	雇用者	79.4	(正規比率	66.7)	自営	-	不就業	17.6	その他・不明	2.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=68

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.2%	79.4%	4.4%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=68

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため	就職活動に役立てる ため
66.2%	33.8%	25.0%	22.1%	19.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=68

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
29.4%	16.2%	39.7%	27.9%	36.8%	16.2%	23.5%	13.2%

④学習を始める前の準備

MA N=68

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
50.0%	14.7%	19.1%	5.9%	2.9%	32.4%	23.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=68

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
10.3%	13.2%	25.0%	17.6%	20.6%	13.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=68

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
23.5%	11.8%	-	1.5%	11.8%	2.9%	-	48.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=68

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.9%	7.4%	4.4%	73.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=68

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
42.6%	26.5%	25.0%	22.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=54

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.1%	50.0%	3.7%	5.6%	11.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=54

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.1%	3.7%	3.7%	3.7%	11.1%	5.6%	1.9%	61.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=54

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.7%	11.1%	42.6%	1.9%	46.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=68

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.4%	48.5%	14.7%	7.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=53

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
28.3%	9.4%	1.9%	24.5%	1.9%	7.5%	7.5%	15.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

47.1%

N= 68

他の主な所持資格(4名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、簿記、基本情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 22.1%

検討中 32.4%

N=68

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=55

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
58.2%	25.5%	7.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。在職時に取得した人が8割。取得動機として「仕事上有利」をあげる人が多く、働きながら資格取得した人の4割強が「資格手当がついた」としており、資格取得が収入面に反映されている。「転職・独立」の比率は比較的低く、在職中の職場で資格が活用されるケースが多いことがうかがえる。3人に1人が資格の魅力・メリットとして「次の資格のステップ」をあげ、新たな資格を取得予定の人の割合が高い。取得時の課題は「仕事との両立」。全体的評価は8割弱が肯定的判断。

介護支援専門員(ケアマネージャー)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (55人)

性別	男性	27.3	女性	72.7						
年齢	20代	1.8	30代	21.8	40代	25.5	50代	43.6	60代以上	7.3
学歴	高校卒	12.7	短大・専修等卒	41.8	大学卒	38.2	大学院卒	5.5	その他	1.8
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	75.0)	自営	7.3	不就業	12.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=55

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.8%	92.7%	3.6%	1.8%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=55

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	将来の転職のため	資格が必要な職業に 就くため
67.3%	38.2%	34.5%	32.7%	25.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=55

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
30.9%	20.0%	72.7%	20.0%	16.4%	18.2%	18.2%	7.3%

④学習を始める前の準備

MA N=55

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
27.3%	10.9%	9.1%	-	-	16.4%	38.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=55

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
18.2%	34.5%	23.6%	20.0%	1.8%	1.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=55

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.8%	-	-	1.8%	16.4%	5.5%	-	74.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=55

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.5%	-	5.5%	87.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=55

仕事との両立	勉強や通学のための時間	家事、育児など 家庭との両立	特にない
60.0%	14.5%	12.7%	21.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=51

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
15.7%	56.9%	2.0%	7.8%	15.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=51

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.9%	13.7%	11.8%	-	19.6%	11.8%	3.9%	41.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=51

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.9%	9.8%	11.8%	3.9%	68.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=55

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
18.2%	54.5%	14.5%	12.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=40

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.0%	27.5%	2.5%	5.0%	2.5%	2.5%	5.0%	10.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

92.7%

N= 55

他の主な所持資格(4名以上)

介護福祉士、看護師・准看護師、訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、医療事務、社会福祉士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.5%

検討中 25.5%

N=55

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=48

専門的・技術的職業	サービスの職業	管理的職業
60.4%	25.0%	8.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性が多い。9割以上が働きながら資格を取得。取得動機として「仕事上有利」が7割弱、資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」が7割強にのぼり、それまでの仕事経験と密接に結びついている。このため、資格取得の課題として「仕事との両立」をあげる人が6割と多い。職場の応援はあまり受けていないが、2割が「周囲からの評価が高まった」としている。介護・福祉、医療分野などの他の資格を所持する割合が高い傾向がみられる。全体的評価としては7割強が肯定的判断。

移動支援従業者(ガイドヘルパー)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (35人)

性別	男性	31.4	女性	68.6						
年齢	20代	-	30代	14.3	40代	20.0	50代	45.7	60代以上	20.0
学歴	高校卒	17.1	短大・専修等卒	34.3	大学卒	45.7	大学院卒	-	不明	2.9
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	30.0)	自営	14.3	不就業	17.1	不明	11.4

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=35

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.9%	57.1%	2.9%	25.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=35

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから
34.3%	31.4%	31.4%	28.6%	25.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=35

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
11.4%	8.6%	22.9%	11.4%	8.6%	17.1%	54.3%	28.6%

④学習を始める前の準備

MA N=35

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
28.6%	8.6%	11.4%	2.9%	-	14.3%	54.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=35

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
80.0%	11.4%	5.7%	-	2.9%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=35

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	34.3%	11.4%	34.3%	2.9%	-	-	11.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=35

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	11.4%	-	-	74.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=35

資格が実際に役に立つかわからない	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
14.3%	11.4%	11.4%	54.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=20

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
10.0%	50.0%	10.0%	15.0%	10.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=20

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	5.0%	-	-	-	5.0%	5.0%	85.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=20

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	5.0%	95.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=35

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
17.1%	54.3%	5.7%	22.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=25

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
16.0%	28.0%	-	4.0%	12.0%	8.0%	28.0%	4.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

97.1%

N= 35

他の主な所持資格(3名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、介護福祉士、簿記、語学検定、社会福祉士、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.6%

検討中 31.4%

N=35

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=25

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
52.0%	36.0%	8.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比約1:2。正規比率が低い。働きながら、あるいは求職活動中に資格を取得した人が多い。取得動機として「仕事の範囲を広げたい」「いずれ何かの役に立つかも」とする人が3割を超え、他の資格を併せて所持している人の割合も高いことから、プラスアルファとして取得する人が多い傾向にあることがうかがえる。資格取得に要した期間は短く、3か月未満とする人が8割である。(サンプル数が少ないが)資格取得が処遇や収入に反映されたとする人は少数である。全体的評価は7割強が肯定的。

福祉用具専門相談員

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	61.4	女性	38.6						
年齢	20代	-	30代	13.6	40代	27.3	50代	34.1	60代以上	25.0
学歴	高校卒	22.7	短大・専修等卒	27.3	大学卒	40.9	大学院卒	-	その他	9.1
就業状態	雇用者	63.6	(正規比率	57.1)	自営	18.2	不就業	15.9	その他	2.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	61.4%	6.8%	25.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	仕事の範囲を広げ たいと思ったから
29.5%	29.5%	27.3%	27.3%	25.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
13.6%	9.1%	36.4%	11.4%	27.3%	6.8%	11.4%	43.2%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
29.5%	15.9%	2.3%	-	-	15.9%	54.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
72.7	22.7	4.5	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.8%	43.2%	15.9%	29.5%	-	-	-	4.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	13.6%	-	11.4%	63.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

資格が実際に役に立つか どうかわからない	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
13.6%	11.4%	11.4%	52.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
25.9%	44.4%	3.7%	14.8%	7.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.7%	7.4%	11.1%	-	7.4%	-	11.1%	77.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	3.7%	-	96.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
4.5%	52.3%	18.2%	25.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=25

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.0%	28.0%	8.0%	-	-	-	8.0%	8.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

90.9%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、簿記、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)、介護福祉士、ファイナンシャル・プランナー、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 20.5%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=37

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
29.7%	29.7%	18.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性がやや多い。在職中、あるいは求職活動中に資格を取得した人が多い。取得動機は仕事関連と自己啓発とに分散している。「取得が比較的容易」という点が魅力・メリットとなっており、資格取得に要した期間も短い。資格取得が処遇や収入面に反映されている人は少ない。資格取得の全体的評価として、「非常によかった」とする人の割合は高くないが、他の資格も所持している人が多いことから、仕事に必須というよりも、プラスアルファとして取得する人が多い傾向にあることがうかがえる。

精神保健福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (97人)

性別	男性	50.5	女性	49.5						
年齢	20代	4.1	30代	40.2	40代	35.1	50代	15.5	60代以上	5.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	16.5	大学卒	69.1	大学院卒	11.3	その他	3.1
就業状態	雇用者	88.7	(正規比率	84.9)	自営	7.2	不就業	4.1	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=97

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
15.5%	76.3%	7.2%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=97

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げ たいと思ったから	より高度な仕事をし たいと思ったから
57.7%	48.5%	40.2%	36.1%	23.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=97

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
12.4%	11.3%	64.9%	50.5%	13.4%	12.4%	33.0%	11.3%

④学習を始める前の準備

MA N=97

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
76.3%	18.6%	8.2%	5.2%	-	33.0%	10.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=97

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.1%	5.2%	48.5%	24.7%	10.3%	9.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=97

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
55.7%	1.0%	-	4.1%	14.4%	1.0%	1.0%	20.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=97

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	6.2%	6.2%	68.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=97

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
58.8%	33.0%	25.8%	16.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=74

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.8%	43.2%	8.1%	8.1%	4.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=74

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.5%	8.1%	14.9%	1.4%	18.9%	20.3%	17.6%	37.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=74

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.8%	8.1%	12.2%	2.7%	75.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=97

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
37.1%	45.4%	11.3%	6.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=80

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.0%	18.8%	5.0%	6.3%	6.3%	6.3%	5.0%	3.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

83.5%

N= 97

他の主な所持資格(6名以上)

社会福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャー)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、介護福祉士、簿記、大型自動車免許、語学検定、普通自動車免許(二種)、移動支援従事者(ガイドヘルパー)、保育士、産業カウンセラー

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.5%

検討中 27.8%

N=97

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=93

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
69.9%	11.8%	9.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比ほぼ半々、正規比率が高い。4人に3人が在職中に取得。取得動機として「仕事上有利」をあげる人が6割弱。在職中取得した人の2割が「転職・独立した」としており、資格取得が労働移動に結びついた割合が比較的高い。資格の魅力・メリットとして、「経験・知識」や「適性・志向」といった自分自身との適合性をあげる人が多い。学習を始める前の準備として、4人に3人は「学校や教育訓練機関の情報収集」を行うなど、事前準備をした人の割合が高い。全体的評価は8割強が肯定的判断。

社会福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (48人)

性別	男性	47.9	女性	52.1						
年齢	20代	10.4	30代	35.4	40代	33.3	50代	14.6	60代以上	6.3
学歴	高校卒	2.1	短大・専修等卒	8.3	大学卒	85.4	大学院卒	4.2	その他	-
就業状態	雇用者	79.2	(正規比率	73.7)	自営	6.3	不就業	6.3	その他・不明	8.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=48

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.1%	54.2%	10.4%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=48

工作上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	将来の転職のため
54.2%	37.5%	35.4%	27.1%	27.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=48

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.5%	12.5%	54.2%	50.0%	16.7%	14.6%	45.8%	2.1%

④学習を始める前の準備

MA N=48

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
54.2%	18.8%	14.6%	4.2%	-	25.0%	27.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=48

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
6.3%	6.3%	20.8%	25.0%	10.4%	31.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=48

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
37.5%	10.4%	-	-	16.7%	-	4.2%	31.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=48

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	6.3%	8.3%	72.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=48

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
52.1%	29.2%	22.9%	22.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
11.5%	50.0%	7.7%	15.4%	11.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	7.7%	7.7%	3.8%	15.4%	23.1%	11.5%	42.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.7%	7.7%	7.7%	-	76.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=48

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
31.3%	45.8%	18.8%	4.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=37

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.4%	18.9%	8.1%	5.4%	5.4%	2.7%	16.2%	5.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

70.8%

N= 48

他の主な所持資格(5名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャー)、大型自動車免許、簿記、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.5%

検討中 35.4%

N=48

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=43

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
60.5%	20.9%	7.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比ほぼ半々。半数強が在職時、約4分の1が在学時に資格取得。資格の魅力・メリットとして半数の人が「経験・知識」や「適性・志向」といった自分との適合性をあげ、「社会や地域に貢献」も多い。取得に要した期間が長い人が多く、「仕事や就職先の情報収集」「資格取得者の体験談を聞いた」などの準備をした割合が比較的高い。在職中に資格取得した場合、「転職・独立した」が2割を超え、労働移動と結びついた人の割合が他と比べて高い。全体的評価は4人に3人が肯定的判断。

保育士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	1.9	女性	98.1						
年齢	20代	4.9	30代	29.1	40代	28.2	50代	21.4	60代以上	16.5
学歴	高校卒	3.9	短大・専修等卒	64.1	大学卒	29.1	大学院卒	1.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	58.3	(正規比率	38.3)	自営	3.9	不就業	33.0	その他・不明	4.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
58.3%	25.2%	4.9%	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため
52.4%	28.2%	26.2%	24.3%	11.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
21.4%	6.8%	38.8%	44.7%	4.9%	19.4%	16.5%	19.4%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
54.4%	8.7%	4.9%	1.0%	-	8.7%	33.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.9%	1.9%	10.7%	42.7%	29.1%	11.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
61.2%	3.9%	-	2.9%	17.5%	-	-	14.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	7.8%	1.9%	78.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

仕事との両立	家事、育児など家庭との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
17.5%	16.5%	14.6%	45.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
30.8%	23.1%	3.8%	26.9%	15.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	-	3.8%	3.8%	23.1%	11.5%	-	61.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	7.7	15.4	3.8	69.2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
40.8%	41.7%	8.7%	8.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=85

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
35.3%	10.6%	3.5%	4.7%	2.4%	2.4%	20.0%	15.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

55.3%

N= 103

他の主な所持資格(5名以上)

幼稚園教諭、簿記、普通自動車免許(二種)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.7%

検討中 14.6%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=65

専門的・技術的職業	事務的職業	その他
46.2%	27.7%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。回答者の3分の1が不就業であり、雇用者のうち正規比率も低い。資格取得は6割近くが在学時であるが、在職時の人も4人に1人の割合で存在する。資格取得の動機としては、「資格が必要な職業に就くため」をあげる人が半数を超えるが、「いずれ何かの役に立つかも」「自分自身の勉強や自己啓発」といった中長期的な目的をあげる人も多い。資格取得に対する総合的評価は、「非常によかった」が4割であり、肯定的判断が8割を超える。

看護師、准看護師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 107人

性別	男性	3.7	女性	96.3						
年齢	20代	1.9	30代	27.1	40代	46.7	50代	18.7	60代以上	5.6
学歴	高校卒	2.8	短大・専修等卒	89.7	大学卒	5.6	大学院卒	-	その他	1.9
就業状態	雇用者	67.3	(正規比率	56.9)	自営	0.9	不就業	29.9	その他	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=107

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
78.5%	18.7%	2.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=107

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動、自己啓発、老後に役立つ、能力を試す
73.8%	56.1%	22.4%	22.4%	9.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=107

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
55.1%	24.3%	22.4%	24.3%	6.5%	15.9%	29.0%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=107

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
49.5%	12.1%	6.5%	2.8%	-	5.6%	39.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=107

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	-	-	7.5%	30.8%	60.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=107

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
89.7%	-	-	0.9%	-	-	-	8.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=107

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
2.8%	-	32.7%	17.8%	46.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=107

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
24.3%	24.3%	18.7%	47.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=20

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
45.0%	50.0%	-	-	5.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=20

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.0%	20.0%	10.0%	-	20.0%	10.0%	5.0%	40.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=20

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	65.0%	45.0%	5.0%	25.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=107

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
65.4%	30.8%	0.9%	1.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=103

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
29.1%	13.6%	-	20.4%	1.9%	2.9%	19.4%	11.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.0%

N= 107

他の主な所持資格(6名以上)

(看護師資格と保健師、助産師資格等を併せ所持している場合、他方の資格区分で回答されている。)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.8%

検討中 9.3%

N=107

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=75

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
86.7%	8.0%	2.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。資格取得は8割弱が在学時。資格取得の動機としては4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」も6割弱の人があげている。資格の魅力・メリットとして、半数以上の人が「将来性がある」をあげている。在職中に資格取得した人では(サンプル数は少ないが)、「職場が積極的に応援してくれた」割合が高く、資格取得が基本給のアップや資格手当に結びついている。総合的評価として、「非常によかった」とする人の割合が3人に2人と高い。

保健師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 90人

性別	男性	6.7	女性	93.3						
年齢	20代	16.7	30代	37.8	40代	26.7	50代	13.3	60代以上	5.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	42.2	大学卒	50.0	大学院卒	5.6	その他	2.2
就業状態	雇用者	82.2	(正規比率	89.2)	自営	3.3	不就業	14.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=90

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
88.9%	3.3%	5.6%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=90

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
68.9%	43.3%	42.2%	23.3%	17.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=90

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
45.6%	21.1%	36.7%	34.4%	10.0%	22.2%	40.0%	6.7%

④学習を始める前の準備

MA N=90

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.1%	20.0%	5.6%	2.2%	-	7.8%	31.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=90

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.2%	1.1%	24.4%	14.4%	5.6%	52.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=90

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
91.1%	-	-	-	-	-	-	8.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=90

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	27.8%	-	71.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=90

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
24.4%	23.3%	5.6%	54.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=3

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	1	-	1	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=3

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=3

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	3

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=90

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
43.3%	42.2%	5.6%	7.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=77

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.9%	24.7%	1.3%	2.6%	2.6%	6.5%	11.7%	7.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

96.7%

N= 90

他の主な所持資格(6名以上)

看護師・准看護師、衛生管理者、介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、精神保健福祉士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.7%

検討中 23.3%

N=90

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=77

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
92.2%	3.9%	2.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。資格取得は9割弱が在学時。動機としては7割弱が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「仕事上有利」、「安定した職業に就くため」が4割強で続く。資格の魅力・メリットとしては、看護師資格と同様、「将来性」、次いで「社会や地域に貢献」「経験や知識を活かせる」の割合が高くなっている。看護師資格をはじめ、他資格を所持している人の割合が高い。総合的評価は肯定的判断が8割を超える。

助産師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	-	女性	100.0						
年齢	20代	4.5	30代	18.2	40代	45.5	50代	27.3	60代以上	4.5
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	54.5	大学卒	18.2	大学院卒	18.2	その他・不明	9.1
就業状態	雇用者	79.5	(正規比率	91.4)	自営	9.1	不就業	11.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
75.0%	4.5%	20.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	より高度な仕事をしたいと思ったから	工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため
68.2%	43.2%	29.5%	22.7%	20.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
45.5%	29.5%	25.0%	47.7%	2.3%	11.4%	34.1%	-

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
52.3%	20.5%	18.2%	4.5%	-	25.0%	18.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	-	31.8%	31.8%	-	31.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
81.8%	2.3%	-	-	-	-	-	15.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
2.3%	-	36.4%	18.2%	43.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
36.4%	15.9%	6.8%	40.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=2

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	-	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=2

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	1	1	-	-	-	1	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=2

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1	1	-	1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
70.5%	27.3%	2.3%	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=43

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
48.8%	18.6%	2.3%	-	-	4.7%	18.6%	2.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

100.0%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

看護師・准看護師、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.8%

検討中 20.5%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=39

専門的・技術的職業	その他	-
97.4%	2.6%	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率 100%。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。資格取得は4人に3人が在学時であり、仕事を辞めて取得活動に専念した人が2割いる。資格取得の動機は7割弱が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が4割強で続く。資格の魅力・メリットとしては、「適性や志向」をあげる人が最も多く、次いで「将来性」。看護師資格取得が前提となっているため、全員が複数資格所持者。総合的評価は「非常によかった」が7割。

理学療法士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (117人)

性別	男性	62.4	女性	37.6						
年齢	20代	16.2	30代	47.0	40代	26.5	50代	8.5	60代以上	1.7
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	65.8	大学卒	25.6	大学院卒	5.1	その他	3.4
就業状態	雇用者	96.6	(正規比率	90.9)	自営	1.7	不就業	1.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=117

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
82.1%	6.8%	10.3%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=117

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから
75.2%	50.4%	14.5%	12.0%	12.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=117

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
46.2%	35.0%	10.3%	45.3%	2.6%	12.8%	44.4%	0.9%

④学習を始める前の準備

MA N=117

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
70.1%	23.9%	11.1%	10.3%	-	13.7%	19.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=117

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.7%	-	-	1.7%	12.8%	83.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=117

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
95.7%	0.9%	-	-	-	-	0.9%	2.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=117

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.7%	37.6%	1.7%	53.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=117

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
47.0%	41.0%	15.4%	29.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=8

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	3	1	2	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=8

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	-	-	-	-	2	-	5

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=8

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3	3	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=117

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
72.6%	22.2%	4.3%	0.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=111

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.3%	8.1%	4.5%	9.9%	-	1.8%	24.3%	7.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

41.0%

N= 117

他の主な所持資格(6名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記、訪問介護員2級・介護職員初任者研修

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.3%

検討中 24.8%

N=117

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=115

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
94.8%	2.6%	2.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性がやや多い。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。在学時に取得した人が8割超。資格取得の動機としては4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が約5割で続く。勉強の中心は学校であり、学習前の準備としても7割が「学校等の情報収集」を行っている。課題や苦勞として、「学費・教材費など費用の負担」をあげる割合が他と比べて高い。総合的評価は「非常によかった」が7割を超える。

作業療法士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (70人)

性別	男性	34.3	女性	65.7						
年齢	20代	20.0	30代	34.3	40代	35.7	50代	8.6	60代以上	1.4
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	62.9	大学卒	25.7	大学院卒	10.0	その他	1.4
就業状態	雇用者	94.3	(正規比率	90.9)	自営	-	不就業	5.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=70

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
84.3%	1.4%	11.4%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=70

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	収入、高度な仕事、能力を試す
80.0%	51.4%	22.9%	15.7%	14.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=70

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
50.0%	17.1%	20.0%	45.7%	-	20.0%	38.6%	2.9%

④学習を始める前の準備

MA N=70

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
64.3%	24.3%	17.1%	14.3%	-	11.4%	17.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=70

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.4%	-	1.4%	1.4%	7.1%	88.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=70

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.3%	-	-	-	1.4%	-	1.4%	2.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=70

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	35.7%	2.9%	55.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=70

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
31.4%	28.6%	11.4%	35.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=1

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
1	-	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=1

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=1

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=70

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
78.6%	18.6%	2.9%	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
36.8%	8.8%	1.5%	10.3%	2.9%	1.5%	23.5%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

60.0%

N= 70

他の主な所持資格(4名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 28.6%

N=70

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=66

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業、生産工程の職業
93.9%	3.0%	1.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。在学時に取得した人が8割超。資格取得の動機としては8割が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が半数強で続く。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として3人に2人が「学校等の情報収集」、4人に1人が「仕事や就職先の情報収集」を行っている。資格取得に対する総合的判断は「非常によかった」が8割近くに達する。

言語聴覚士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (42人)

性別	男性	38.1	女性	61.9						
年齢	20代	9.5	30代	57.1	40代	26.2	50代	4.8	60代以上	2.4
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	40.5	大学卒	42.9	大学院卒	11.9	その他	4.8
就業状態	雇用者	95.2	(正規比率	80.0)	自営	-	不就業	4.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=42

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
40.5%	26.2%	28.6%	2.4%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=42

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	工作上、資格があるほうが有利だから	高度な仕事、能力を試す
71.4%	35.7%	26.2%	21.4%	19.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=42

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
26.2%	7.1%	28.6%	59.5%	4.8%	26.2%	33.3%	2.4%

④学習を始める前の準備

MA N=42

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
69.0%	19.0%	11.9%	2.4%	-	16.7%	16.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=42

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	4.8%	2.4%	23.8%	35.7%	33.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=42

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
76.2%	-	-	-	-	-	2.4%	21.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=42

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	16.7%	-	76.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=42

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間、仕事との両立、学習内容や学習の進め方	特にない
42.9%	23.8%	16.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=11

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	6	-	-	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=11

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	4	-	-	4	2	3	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=11

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	2	2	5

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=42

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
64.3%	28.6%	4.8%	2.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.2%	2.6%	-	2.6%	2.6%	2.6%	30.8%	10.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

42.9%

N= 42

他の主な所持資格(4名以上)

語学検定、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.9%

検討中 21.4%

N=42

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=40

専門的・技術的職業	-	-
100.0%	-	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が少なく、正規比率、専門的・技術的職業に従事する比率が高い。在学時取得者の割合が4割、仕事を辞めて学習に専念した人と在職時に取得した人の割合がそれぞれ4人に1人前後であり、理学療法士や作業療法士と比較して資格取得時の状況が分かれている。課題になったことも、「費用の負担」のほか、「勉強や通学の時間」や「仕事との両立」、「学習の進め方」など多様である。総合的評価は3人に2人が「非常によかった」としている。

臨床検査技師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (64人)

性別	男性	25.0	女性	75.0						
年齢	20代	7.8	30代	12.5	40代	25.0	50代	39.1	60代以上	15.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	53.1	大学卒	35.9	大学院卒	9.4	その他	1.6
就業状態	雇用者	68.8	(正規比率	63.6)	自営	3.1	不就業	26.6	その他	1.6

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=64

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
89.1%	9.4%	1.6%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=64

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	就職活動に役立てるため
65.6%	40.6%	28.1%	14.1%	10.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=64

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
21.9%	7.8%	20.3%	40.6%	4.7%	12.5%	20.3%	10.9%

④学習を始める前の準備

MA N=64

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.6%	17.2%	6.3%	3.1%	1.6%	6.3%	26.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=64

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.7%	3.1%	3.1%	4.7%	28.1%	54.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=64

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
90.6%	-	-	1.6%	-	1.6%	-	6.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=64

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	15.6%	6.3%	78.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=64

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
20.3%	18.8%	7.8%	59.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	1	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	3	-	-	1	1	-	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	4	-	2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=64

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
40.6%	35.9%	12.5%	9.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=49

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.9%	12.2%	6.1%	4.1%	2.0%	4.1%	14.3%	4.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.8%

N= 64

他の主な所持資格(5名以上)

薬剤師、語学検定、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.7%

検討中 9.4%

N=64

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=47

専門的・技術的職業	管理的職業、事務的職業、サービスの職業
80.9%	6.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比 1:3 で女性が多い。4人に1人が不就業。就業者は8割が専門的・技術的職業に従事。資格取得時期は在学時が約9割。資格取得の動機としては3人に2人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が約4割で続く。資格の魅力・メリットとしては、約4割の人が「適性や志向に合う」をあげ、最も多い。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として半数強が「学校等の情報収集」を行っている。総合的評価は「非常によかった」が4割。

はり師、きゆう師、あん摩マッサージ指圧師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (108人)

性別	男性	76.9	女性	23.1						
年齢	20代	3.7	30代	16.7	40代	44.4	50代	28.7	60代以上	6.5
学歴	高校卒	4.6	短大・専修等卒	72.2	大学卒	16.7	大学院卒	2.8	その他	3.7
就業状態	雇用者	22.2	(正規比率	70.8)	自営	65.7	不就業	6.5	その他・不明	5.6

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=108

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.9%	20.4%	25.9%	0.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=108

資格が必要な職業に就くため	将来の独立のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
63.9%	39.8%	21.3%	17.6%	15.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=108

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
13.9%	9.3%	24.1%	48.1%	1.9%	26.9%	31.5%	8.3%

④学習を始める前の準備

MA N=108

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
52.8%	12.0%	13.0%	13.9%	-	24.1%	25.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=108

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
0.9%	1.9%	6.5%	3.7%	29.6%	56.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=108

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
88.9%	0.9%	2.8%	0.9%	-	0.9%	-	3.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=108

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	3.7%	10.2%	2.8%	79.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=108

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
39.8%	33.3%	28.7%	28.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
40.9%	40.9%	-	4.5%	4.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.2%	9.1%	13.6%	-	9.1%	36.4%	9.1%	40.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.5%	22.7%	22.7%	22.7%	54.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=108

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
48.1%	32.4%	9.3%	10.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=87

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.0%	10.3%	-	8.0%	5.7%	-	23.0%	4.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.4%

N= 108

他の主な所持資格(5名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記、柔道整復師、危険物取扱者、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 21.3%

N=108

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=100

専門的・技術的職業	サービスの職業	その他の職業
80.0%	7.0%	4.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比3:1で男性が多い。3人に2人が自営。在学時に資格を取得した人の割合が約半数、仕事を辞めて学習に専念した人が4人に1人、在職時に取得した人が5人に1人と取得時の状況は多様である。取得動機として「資格が必要な職業に就くため」が6割強であるが、次いで4割が「将来の独立のため」であり、在職時取得者の4割弱が実際に「転職・独立した」としており、独立・自営につながっている。総合的評価は半数弱が「非常によかった」としている。

柔道整復師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (86人)

性別	男性	95.3	女性	4.7						
年齢	20代	5.8	30代	17.4	40代	33.7	50代	34.9	60代以上	8.1
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	79.1	大学卒	12.8	大学院卒	2.3	その他	1.2
就業状態	雇用者	16.3	(正規比率	92.9)	自営	81.4	不就業	-	その他	2.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=86

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
57.0%	29.1%	12.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=86

資格が必要な職業に就くため	将来の独立のため	安定した職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため
67.4%	38.4%	23.3%	17.4%	16.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=86

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
24.4%	11.6%	27.9%	33.7%	4.7%	17.4%	45.3%	2.3%

④学習を始める前の準備

MA N=86

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
46.5%	15.1%	22.1%	14.0%	-	19.8%	23.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=86

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.2%	1.2%	1.2%	7.0%	37.2%	51.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=86

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.2%	1.2%	-	-	-	-	-	4.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=86

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.8%	3.5%	84.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=86

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
41.9%	33.7%	23.3%	30.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
60.0%	28.0%	-	-	4.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
16.0%	4.0%	-	-	16.0%	32.0%	-	36.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.0%	48.0%	12.0%	4.0%	32.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=86

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
54.7%	33.7%	7.0%	4.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=76

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.5%	10.5%	1.3%	11.8%	3.9%	1.3%	26.3%	5.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

45.3%

N= 86

他の主な所持資格(4名以上)

はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、介護支援専門員(ケアマネージャー)、危険物取扱者、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.3%

検討中 18.6%

N=86

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=86

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
89.5%	4.7%	2.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。8割が自営。在学時取得者が6割弱、在職時取得者が3割となっている。取得動機として3人に2人が「資格が必要な職業に就くため」をあげているが、次いで4割弱が「将来の独立のため」をあげ、在職時取得者の3割強が実際に「転職・独立した」としている。はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師と同様、独立・自営につながる資格となっている。資格取得に対する総合的評価は半数以上が「非常によかった」としている。

救急救命士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 58人

性別	男性	98.3	女性	1.7						
年齢	20代	1.7	30代	31.0	40代	29.3	50代	36.2	60代以上	1.7
学歴	高校卒	41.4	短大・専修等卒	20.7	大学卒	32.8	大学院卒	1.7	その他	3.4
就業状態	雇用者	98.3	(正規比率	100.0)	自営	1.7	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=58

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
6.9%	87.9%	1.7%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=58

勤め先からの要請や 勧奨があったから	より高度な仕事をし たいと思ったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	自分の能力や可能性を 試したかったから
60.3%	39.7%	32.8%	31.0%	27.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=58

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.0%	25.9%	53.4%	39.7%	1.7%	6.9%	50.0%	3.4%

④学習を始める前の準備

MA N=58

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
25.9%	5.2%	24.1%	6.9%	-	13.8%	44.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=58

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
6.9%	8.6%	58.6%	12.1%	6.9%	6.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=58

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
27.6%	5.2%	27.6%	5.2%	-	10.3%	-	15.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=58

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.4%	1.7%	34.5%	44.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=58

仕事との両立	勉強や通学のための時間	家事、育児など 家庭との両立	特にない
25.9%	20.7%	13.8%	39.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=51

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
56.9%	35.3%	-	-	2.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=51

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.8%	54.9%	3.9%	3.9%	15.7%	2.0%	11.8%	29.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=51

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.0	13.7	41.2	3.9	45.1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=58

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
48.3%	37.9%	6.9%	6.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=50

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.0%	12.0%	2.0%	8.0%	2.0%	-	8.0%	2.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

82.8%

N= 58

他の主な所持資格(4名以上)

大型自動車免許、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、看護師・准看護師、クレーン・デリック運転士、衛生管理者、電気工事士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.2%

検討中 20.7%

N=58

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

保安の職業	専門的・技術的職業	その他の職業
75.9%	17.2%	3.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時取得者が9割近く、医療分野の資格としては数少ない在職時取得型の資格。3人に2人が保安の職業(消防士など)に従事しており、取得動機として「勤め先からの勧奨や要請」をあげる人が6割にのぼる。このため、職場が「積極的に応援してくれた」割合も高く、資格取得後は半数以上が「資格を活かせる部署・担当に異動」、「資格手当がついた」人も4割を超えており、資格取得が職場での働き方に大きく寄与することがうかがえる。総合的判断も9割近くが肯定的判断。

臨床工学技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	86.0	女性	14.0						
年齢	20代	9.3	30代	32.6	40代	16.3	50代	37.2	60代以上	4.7
学歴	高校卒	2.3	短大・専修等卒	67.4	大学卒	27.9	大学院卒	2.3	その他	-
就業状態	雇用者	93.0	(正規比率	92.5)	自営	4.7	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.2%	48.8%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=43

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから
53.5%	34.9%	30.2%	16.3%	14.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
48.8%	11.6%	37.2%	25.6%	4.7%	7.0%	25.6%	9.3%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.2%	14.0%	7.0%	4.7%	-	16.3%	39.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.7%	7.0%	23.3%	7.0%	18.6%	39.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
58.1%	2.3%	-	14.0%	-	4.7%	-	20.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	11.6%	16.3%	72.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
32.6%	32.6%	23.3%	32.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=21

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
38.1%	42.9%	14.3%	-	4.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=21

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.5%	23.8%	9.5%	-	19.0%	9.5%	4.8%	38.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=21

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	28.6%	23.8%	4.8%	47.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
41.9	46.5	11.6	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
47.4%	15.8%	5.3%	7.9%	2.6%	2.6%	13.2%	5.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

51.2%

N= 43

他の主な所持資格(3名以上)

看護師・准看護師、臨床検査技師、普通自動車免許(二種)、危険物取扱者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.6%

検討中 25.6%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

専門的・技術的職業	販売・営業の職業	管理的職業、事務的職業
88.1%	4.8%	2.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、雇用者比率および正規比率が高い。資格取得時期は、在学時と在職時がほぼ半々。資格取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が半数を超えて最も多く、資格の魅力・メリットとしては半数近くが「将来性」をあげている。在職中に資格取得した人は、職場が「積極的に応援してくれた」ケースが比較的多く、4人に1人程度は「資格を活かせる部署に異動」「基本給のアップ」「資格手当」など、資格取得が処遇面に反映されている。総合的評価も9割近くが肯定的判断。

診療放射線技師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (109人)

性別	男性	79.8	女性	20.2						
年齢	20代	1.8	30代	34.9	40代	32.1	50代	22.0	60代以上	9.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	71.6	大学卒	22.9	大学院卒	3.7	その他	1.8
就業状態	雇用者	95.4	(正規比率	93.3)	自営	1.8	不就業	1.8	その他・不明	0.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=109

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
91.7%	5.5%	2.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=109

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動に役立てるため
83.5%	53.2%	15.6%	11.0%	9.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=109

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
34.9%	18.3%	11.0%	39.4%	0.9%	11.0%	30.3%	8.3%

④学習を始める前の準備

MA N=109

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
67.0%	15.6%	4.6%	3.7%	-	5.5%	22.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=109

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
0.9%	-	-	0.9%	25.7%	71.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=109

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.5%	-	-	-	-	-	0.9%	4.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=109

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	14.7%	5.5%	72.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=109

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
31.2%	26.6%	13.8%	40.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
5	1	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2	1	1	-	1	-	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	5	4	-	-

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=109

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
58.7%	34.9%	0.9%	5.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=102

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
57.8%	4.9%	3.9%	2.9%	2.0%	1.0%	14.7%	9.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

24.8%

N= 109

他の主な所持資格(4名以上)

普通自動車免許(二種)、大型自動車免許、危険物取扱者、衛生管理者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.3%

検討中 14.7%

N=109

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=106

専門的・技術的職業	管理的職業	-
98.1%	1.9%	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。不就業が少なく、雇用者比率、正規比率、専門的・技術的職業従事者の比率がきわめて高い。取得時期は在学時が9割を超え、取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が8割超、「安定した職業に就くため」が5割超と、就業への意識が高いことがうかがえる。資格取得に要する期間が長く、勉強の中心は学校であり、学習前の準備として3人に2人が「学校等の情報収集」を行っている。総合的評価では、6割弱が「非常によかった」としている。

歯科衛生士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (87人)

性別	男性	1.1	女性	98.9						
年齢	20代	6.9	30代	23.0	40代	40.2	50代	24.1	60代以上	5.7
学歴	高校卒	1.1	短大・専修等卒	85.1	大学卒	10.3	大学院卒	-	その他	3.4
就業状態	雇用者	80.5	(正規比率	68.6)	自営	5.7	不就業	8.0	その他	5.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=87

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
89.7%	3.4%	6.9%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=87

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動、いずれ役立つ
63.2%	42.5%	29.9%	13.8%	11.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=87

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
39.1%	9.2%	17.2%	26.4%	-	17.2%	12.6%	10.3%

④学習を始める前の準備

MA N=87

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
56.3%	11.5%	5.7%	3.4%	-	6.9%	26.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=87

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.1%	3.4%	3.4%	44.8%	39.1%	8.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=87

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.3%	2.3%	-	-	1.1%	-	-	1.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=87

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.7%	-	94.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=87

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	家事、育児など家庭との両立	特にない
20.7%	16.1%	4.6%	62.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=3

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	-	1	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=3

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	1	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=3

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	1	-	-

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=87

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
42.5%	41.4%	9.2%	6.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=73

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.7%	16.4%	5.5%	11.0%	2.7%	4.1%	12.3%	6.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

55.2%

N= 87

他の主な所持資格(4名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、簿記、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、秘書検定、普通自動車免許(二種)、社会福祉士、介護福祉士、医療事務

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.4%

検討中 34.5%

N=87

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=80

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
73.8%	8.8%	5.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業は1割未満。資格取得時期は約9割が在学時。取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が6割強、「安定した職業に就くため」が4割強であり、就業への意識が高いことがうかがえる。資格の魅力・メリットとしては、「将来性」をあげる人が約4割と最も多い。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として6割弱が「学校等の情報収集」を行っている。資格取得の総合的評価では、4割強が「非常によかった」としている。

歯科技工士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (71人)

性別	男性	84.5	女性	15.5						
年齢	20代	-	30代	14.1	40代	32.4	50代	47.9	60代以上	5.6
学歴	高校卒	1.4	短大・専修等卒	90.1	大学卒	1.4	大学院卒	4.2	その他	2.8
就業状態	雇用者	52.1	(正規比率	94.6)	自営	42.3	不就業	4.2	その他	1.4

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=71

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
88.7%	8.5%	2.8%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=71

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	将来の独立のため	就職活動、より高い収入
81.7%	26.8%	15.5%	14.1%	12.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=71

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
18.3%	8.5%	5.6%	63.4%	1.4%	11.3%	19.7%	5.6%

④学習を始める前の準備

MA N=71

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
49.3%	15.5%	7.0%	7.0%	-	14.1%	26.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=71

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.8%	1.4%	1.4%	38.0%	46.5%	9.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=71

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.4%	1.4%	-	1.4%	-	-	-	2.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=71

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.6%	1.4%	88.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=71

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
28.2%	26.8%	14.1%	42.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
1	4	-	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	1	-	-	1	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	1	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=71

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
31.0%	39.4%	23.9%	5.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=50

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
52.0%	6.0%	-	2.0%	2.0%	2.0%	24.0%	8.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

38.0%

N= 71

他の主な所持資格(4名以上)

普通自動車免許(二種)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 12.7%

N=71

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=68

専門的・技術的職業	サービスの職業	管理的職業、販売・営業の職業
76.5%	8.8%	4.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営が4割強と自営比率が比較的高い。資格取得時期は9割弱が在学時。資格取得動機としては、「資格が必要な職業に就くため」が8割強に達し、資格の魅力・メリットとしては「適性や志向に合う」が6割超と集中しており、資格取得の目的意識が明確な人が多いことがうかがえる。総合的判断は7割が肯定的であるが、4人に1人は「かかったコストや時間の割にメリット小」との判断。

薬剤師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (116人)

性別	男性	42.2	女性	57.8						
年齢	20代	3.4	30代	30.2	40代	30.2	50代	25.0	60代以上	11.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	75.9	大学院卒	21.6	その他	2.6
就業状態	雇用者	79.3	(正規比率	77.2)	自営	2.6	不就業	16.4	その他・不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=116

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
98.3%	1.7%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=116

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	より高い収入を得るため
62.1%	49.1%	26.7%	20.7%	17.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=116

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
41.4%	28.4%	28.4%	37.1%	1.7%	17.2%	26.7%	3.4%

④学習を始める前の準備

MA N=116

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
37.9%	12.9%	1.7%	2.6%	0.9%	5.2%	45.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=116

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.6%	4.3%	2.6%	2.6%	0.9%	81.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=116

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
82.8%	-	-	-	-	-	0.9%	15.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=116

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	0.9%	17.2%	-	80.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=116

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
31.0%	27.6%	7.8%	52.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=2

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	2	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=2

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=2

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=116

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
57.8 %	31.9 %	5.2 %	4.3 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=104

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
44.2 %	9.6 %	5.8 %	2.9 %	1.0 %	5.8 %	16.3 %	13.5 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.0%

N= 116

他の主な所持資格
(臨床検査技師として回答された中に薬剤師資格所持者が含まれている。)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.3%

検討中 12.1%

N=116

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=96

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
80.2 %	10.4 %	5.2 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。在職者の8割が専門的・技術的職業に従事。ほとんどが在学時に資格を取得。資格取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が6割強、「安定した職業に就くため」が約5割であり、就職との結びつきが強いが、「いずれ何かの役に立つかもしれないから」という回答も2割あり、意識が多様であることがうかがえる。総合的評価では、6割弱が「非常によかった」としており、肯定的判断が9割と高い。

登録販売者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	56.8	女性	43.2						
年齢	20代	9.5	30代	31.6	40代	42.1	50代	11.6	60代以上	5.3
学歴	高校卒	29.5	短大・専修等卒	24.2	大学卒	40.0	大学院卒	2.1	その他	4.2
就業状態	雇用者	66.3	(正規比率	76.2)	自営	21.1	不就業	9.5	その他・不明	3.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.2%	89.5%	3.2%	1.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=95

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げ たいと思ったから
53.7%	40.0%	32.6%	30.5%	20.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.7%	7.4%	61.1%	20.0%	9.5%	14.7%	8.4%	16.8%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
28.4%	5.3%	6.3%	12.6%	1.1%	16.8%	35.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
14.7%	29.5%	29.5%	14.7%	6.3%	5.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.2%	6.3%	-	6.3%	9.5%	20.0%	-	52.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.1%	2.1%	16.8%	78.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
43.2%	21.1%	12.6%	30.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=85

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
49.4%	38.8%	1.2%	3.5%	3.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=85

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.8%	7.1%	15.3%	3.5%	21.2%	5.9%	2.4%	58.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=85

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.7%	5.9%	47.1%	4.7%	42.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
23.2%	53.7%	12.6%	10.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=73

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.5%	26.0%	4.1%	12.3%	-	2.7%	4.1%	13.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.9%

N= 95

他の主な所持資格(5名以上)

医療事務、簿記、普通自動車免許(二種)、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、食品衛生管理者、危険物取扱者、衛生管理者、宅地建物取引主任者、秘書検定、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.4%

検討中 22.1%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=85

販売・営業の職業	専門的・技術的職業	事務的職業
47.1%	23.5%	10.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は男性がやや多い。在職時取得者が約9割。取得動機として、「仕事上有利」が5割強、「勤め先からの要請や勧奨」が4割であり、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」が6割強と、現職において資格を活かすことを志向している人が多いことがうかがえる。「職場が積極的に応援」が約半数、働き方には大きな変化がない場合が多いが、「資格手当がついた」とする回答が半数近くに達し、収入面には資格取得が反映される傾向がみられる。総合的評価は4人に3人が肯定的。

栄養士、管理栄養士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (104人)

性別	男性	3.8	女性	96.2						
年齢	20代	4.8	30代	28.8	40代	24.0	50代	25.0	60代以上	17.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	73.1	大学卒	26.0	大学院卒	1.0	その他	-
就業状態	雇用者	39.4	(正規比率	41.5)	自営	3.8	不就業	52.9	その他・不明	3.8

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=104

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
90.4%	7.7%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=104

いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	就職活動に役立つため	仕事上、資格があるほうが有利だから
40.4%	33.7%	23.1%	21.2%	16.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=104

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
15.4%	4.8%	26.9%	43.3%	8.7%	15.4%	9.6%	22.1%

④学習を始める前の準備

MA N=104

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
33.7%	13.5%	1.0%	2.9%	-	1.9%	52.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=104

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.8%	1.9%	3.8%	42.3%	26.0%	22.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=104

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
92.3%	1.0%	-	-	-	-	-	5.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=104

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	7.7%	-	91.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=104

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立、資格が実際に役に立つか	特にない
15.4%	14.4%	7.7%	58.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=8

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	7	-	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=8

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2	2	1	-	2	1	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=8

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	3	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=104

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
15.4 %	50.0 %	24.0 %	10.6 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
54.4 %	7.4 %	5.9 %	-	1.5 %	2.9 %	14.7 %	13.2 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

6.7%

N= 104

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.8%

検討中 9.6%

N=104

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=46

事務的職業	専門的・技術的職業	サービスの職業
43.5 %	28.3 %	17.4 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。不就業の比率が高く、正規比率が低い。現職は事務的職業が最も多い。9割が在学時に資格取得。取得動機として、「いずれ何かの役に立つかもしれない」が4割で最も多く、中長期的な備えとして資格を取得した人が多いことがうかがえる。資格取得に対する総合的評価は、3人に2人は肯定的だが、資格と働き方の現状が必ずしも結びついていない人が少なくないこともあり、「非常によかった」とする人の割合は小さい。

調理師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	53.5	女性	46.5						
年齢	20代	-	30代	22.2	40代	33.3	50代	17.2	60代以上	27.3
学歴	高校卒	29.3	短大・専修等卒	35.4	大学卒	25.3	大学院卒	1.0	その他	9.1
就業状態	雇用者	46.5	(正規比率	43.5)	自営	23.2	不就業	25.3	その他・不明	5.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
30.3%	61.6%	4.0%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	肩書きや呼称があるとういと思ったから
45.5%	24.2%	23.2%	19.2%	17.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
16.2%	8.1%	41.4%	29.3%	6.1%	18.2%	8.1%	34.3%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
32.3%	15.2%	6.1%	5.1%	1.0%	14.1%	39.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.3%	18.2%	13.1%	23.2%	15.2%	4.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
35.4%	2.0%	1.0%	7.1%	3.0%	3.0%	-	48.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	2.0%	8.1%	87.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
21.2%	15.2%	9.1%	51.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.6%	45.9%	1.6%	8.2%	14.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.5%	8.2%	8.2%	-	11.5%	8.2%	-	67.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	11.5%	9.8%	1.6%	80.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
20.2%	49.5%	14.1%	16.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.0%	17.4%	7.2%	2.9%	-	2.9%	7.2%	15.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

5.1%

N= 99

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.0%

検討中 21.2%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=72

サービスの職業	販売・営業の職業	事務的職業
51.4%	13.9%	12.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は半々よりやや男性が多い。自営、不就業がそれぞれ約4分の1。現職は約半数がサービスの職業。資格取得時点は在学時3割、在職時6割と働きながら取得した人が多い。取得動機として「仕事上有利」が最も多く、資格の魅力・メリットとしては、「経験や知識を活かせる」「取得が比較的容易」などをあげる人が多い。処遇や収入面では資格取得による変化がない人が多い。総合評価として7割は肯定的判断だが、「非常によかった」という割合は2割と比較的小さい。

製菓衛生師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (37人)

性別	男性	54.1	女性	45.9						
年齢	20代	10.8	30代	16.2	40代	43.2	50代	16.2	60代以上	13.5
学歴	高校卒	10.8	短大・専修等卒	54.1	大学卒	27.0	大学院卒	2.7	その他	5.4
就業状態	雇用者	62.2	(正規比率	56.5)	自営	24.3	不就業	13.5	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=37

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.0%	67.6%	-	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=37

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	将来の独立のため	勤め先からの要請 や勧奨、いずれ役 に立つ
40.5%	29.7%	18.9%	16.2%	13.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=37

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
-	-	51.4%	13.5%	5.4%	21.6%	-	21.6%

④学習を始める前の準備

MA N=37

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
24.3%	10.8%	10.8%	5.4%	-	5.4%	40.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=37

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
27.0%	13.5%	18.9%	16.2%	13.5%	8.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=37

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
35.1%	2.7%	-	5.4%	5.4%	2.7%	-	48.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=37

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.7%	5.4%	-	89.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=37

仕事との両立	資格が実際に役に立つか どうかかわらない	学費、教材費など費用 の負担	特にない
18.9%	13.5%	8.1%	51.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
20.0%	52.0%	4.0%	12.0%	8.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	-	-	-	84.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	4.0%	8.0%	4.0%	84.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=37

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
8.1%	48.6%	32.4%	10.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=21

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
38.1%	23.8%	4.8%	4.8%	9.5%	9.5%	-	9.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.9%

N= 37

他の主な所持資格(3名以上)

調理師、簿記、食品衛生管理者、技能士（ものづくり分野）、栄養士・管理栄養士、危険物取扱者、普通自動車免許（二種）、医療事務、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.1%

検討中 29.7%

N=37

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=32

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
40.6%	15.6%	15.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は半々よりやや男性が多い。自営が4人に1人。現職は4割が専門的・技術的職業。在職時取得者が3分の2であり、資格取得動機は「仕事上有利」、資格の魅力・メリットは「経験・知識を活かせる」が多い。他の資格の所持状況から、食品関連の資格取得の一環として取り組んだ在職者が多いことがうかがえるが、処遇や収入面では大きな変化がない人が多い。総合評価として半数以上は肯定的判断であるが、「非常によかった」とする人の割合は1割未満と小さい。

理容師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (56人)

性別	男性	92.9	女性	7.1						
年齢	20代	-	30代	8.9	40代	44.6	50代	23.2	60代以上	23.2
学歴	高校卒	14.3	短大・専修等卒	76.8	大学卒	5.4	大学院卒	-	その他	3.6
就業状態	雇用者	10.7	(正規比率	100.0)	自営	76.8	不就業	3.6	その他・不明	8.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=56

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
32.1%	64.3%	1.8%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=56

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	将来の独立のため	工作上、資格があるほうが有利だから	勤め先からの要請や勧奨があったから
69.6%	16.1%	16.1%	10.7%	7.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=56

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
8.9%	-	17.9%	19.6%	-	17.9%	16.1%	8.9%

④学習を始める前の準備

MA N=56

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
39.3%	10.7%	1.8%	3.6%	1.8%	10.7%	42.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=56

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.8%	3.6%	3.6%	35.7%	39.3%	16.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=56

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
55.4%	5.4%	3.6%	5.4%	12.5%	5.4%	1.8%	8.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=56

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	3.6%	7.1%	1.8%	80.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=56

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
28.6%	10.7%	5.4%	60.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=36

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
58.3%	30.6%	2.8%	2.8%	2.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=36

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.3%	11.1%	13.9%	-	11.1%	5.6%	-	58.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=36

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.8%	33.3%	5.6%	-	61.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=56

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
55.4%	26.8%	7.1%	10.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	13.0%	-	6.5%	2.2%	-	2.2%	23.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

17.9%

N= 56

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、美容師

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.6%

検討中 3.6%

N=56

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=53

サービスの職業	専門的・技術的職業	管理的職業
86.8%	11.3%	1.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率、自営比率が高い。ほとんどがサービスの職業に従事しており、資格と職業の結びつきが強い。資格取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と働きながら取得した人が多い。資格取得動機は「資格が必要な職業に就くため」に7割が集中しているが、資格の魅力・メリットについては回答が分散している。在職中に資格取得した場合、職場が積極的に応援してくれた割合が6割近くにのぼり、3人に1人は基本給がアップしている。資格取得を「非常によかった」とする割合は半数を超える。

美容師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 53人

性別	男性	34.0	女性	66.0						
年齢	20代	1.9	30代	22.6	40代	26.4	50代	32.1	60代以上	17.0
学歴	高校卒	7.5	短大・専修等卒	83.0	大学卒	3.8	大学院卒	-	その他	5.7
就業状態	雇用者	32.1	(正規比率	29.4)	自営	45.3	不就業	20.8	その他	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=53

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
30.2%	60.4%	3.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=53

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	将来の独立のため	自分自身の勉強や自己啓発のため
52.8%	35.8%	22.6%	15.1%	11.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=53

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
30.2%	3.8%	22.6%	37.7%	3.8%	17.0%	7.5%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=53

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
50.9%	11.3%	9.4%	1.9%	-	-	35.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=53

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.8%	3.8%	7.5%	45.3%	22.6%	17.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=53

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
71.7%	3.8%	-	1.9%	9.4%	5.7%	-	7.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=53

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.9%	-	-	88.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=53

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
30.2%	13.2%	13.2%	49.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=32

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
56.3%	31.3%	3.1%	-	3.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=32

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
15.6%	3.1%	6.3%	-	15.6%	3.1%	-	59.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=32

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	18.8%	3.1%	-	75.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=53

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.0%	39.6%	15.1%	11.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
38.5%	5.1%	7.7%	2.6%	7.7%	10.3%	12.8%	12.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.4%

N= 53

他の主な所持資格(3名以上)

普通自動車免許(二種)、簿記、医療事務

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 1.9%

検討中 11.3%

N=53

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

サービスの職業	事務的職業	専門的・技術的職業
59.5%	11.9%	7.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ1:2で女性が多い。半数弱が自営、雇用者の正規比率が低い。取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と働きながら取得した人が多い。取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が半数強、資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が4割弱で最も多い。理容師と同様、在職中に資格取得した場合、職場が積極的に応援してくれた割合が6割近くのにのぼるが、処遇や収入に反映された人は多くない。総合評価として肯定的判断が多いが、「非常によかった」とする人は3人に1人である。

食品衛生管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (42人)

性別	男性	57.1	女性	42.9						
年齢	20代	11.9	30代	14.3	40代	26.2	50代	28.6	60代以上	19.0
学歴	高校卒	14.3	短大・専修等卒	7.1	大学卒	59.5	大学院卒	7.1	その他	11.9
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	50.0)	自営	14.3	不就業	21.4	その他・不明	7.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=42

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
31.0%	61.9%	2.4%	2.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=42

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	将来の独立のため
28.6%	26.2%	19.0%	16.7%	9.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=42

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.8%	2.4%	28.6%	9.5%	7.1%	28.6%	7.1%	47.6%

④学習を始める前の準備

MA N=42

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
16.7%	-	7.1%	-	-	14.3%	61.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=42

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
64.3%	-	-	7.1%	-	28.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=42

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
28.6%	2.4%	9.5%	11.9%	4.8%	2.4%	2.4%	28.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=42

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.4%	-	14.3%	83.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=42

仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	勉強や通学のための時間	特にない
16.7%	4.8%	4.8%	73.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
23.1%	53.8%	7.7%	3.8%	7.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	15.4%	11.5%	-	3.8%	3.8%	3.8%	69.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	3.8%	7.7%	84.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=42

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
23.8%	40.5%	4.8%	31.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=27

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
22.2%	37.0%	3.7%	3.7%	7.4%	-	11.1%	11.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

52.4%

N= 42

他の主な所持資格(3名以上)

危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、簿記、栄養士・管理栄養士、調理師、衛生管理者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.1%

検討中 19.0%

N=42

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=31

サービスの職業	管理的職業	専門的・技術的職業、事務的職業
32.3%	19.4%	16.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや男性が多い。資格取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と在職時取得者が多い。取得動機は「仕事上有利」と「資格が必要な職業に就くため」が多く、資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」をあげる人が半数近い。取得に要した期間は約3人に2人が3か月未満である。他の資格の所持状況から、在職者が食品関連の資格取得の一環として取り組むケースが多いことがうかがえるが、処遇や収入に反映された人は少なく、総合的判断は「まだ判断できない」という割合が3割を超える。

色彩検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (81人)

性別	男性	16.0	女性	84.0						
年齢	20代	8.6	30代	39.5	40代	30.9	50代	14.8	60代以上	6.2
学歴	高校卒	12.3	短大・専修等卒	25.9	大学卒	51.9	大学院卒	3.7	その他	6.2
就業状態	雇用者	51.9	(正規比率	50.0)	自営	11.1	不就業	32.1	その他・不明	4.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=81

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
24.7%	60.5%	7.4%	2.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=81

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから
60.5%	32.1%	32.1%	21.0%	13.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=81

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
1.2%	-	32.1%	50.6%	13.6%	22.2%	1.2%	25.9%

④学習を始める前の準備

MA N=81

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
30.9%	2.5%	2.5%	-	-	8.6%	53.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=81

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
32.1%	39.5%	18.5%	6.2%	2.5%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=81

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.1%	12.3%	2.5%	1.2%	13.6%	-	-	58.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=81

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.2%	1.2%	6.2%	79.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=81

資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
22.2%	18.5%	17.3%	37.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=49

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2.0%	34.7%	2.0%	38.8%	20.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=49

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.0%	-	4.1%	2.0%	2.0%	4.1%	2.0%	85.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=49

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2.0%	-	-	98.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=81

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
4.9%	58.0%	22.2%	14.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.7%	15.7%	-	-	-	2.0%	-	5.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

75.3%

N= 81

他の主な所持資格(5名以上)

普通自動車免許(二種)、語学検定、簿記、秘書検定、ファイナンシャル・プランナー、危険物取扱者、基本情報技術者、IT関連企業の能力認定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.3%

検討中 29.6%

N=81

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=54

事務的職業	専門的・技術的職業	販売・営業の職業、サービスの職業
29.6%	27.8%	13.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高く、3分の1が不就業。在職時に資格取得した人が6割と最も多い。資格取得動機として、「自分自身の勉強や自己啓発」が6割にのぼり、「自分の能力や可能性を試す」「いずれ何かの役に立つかも」といった中長期的な学習動機で取得した人が多く、仕事との結びつきは比較的弱い。資格取得に対する評価として「非常によかった」とする割合は小さいが、今後新たな資格取得に向けて「勉強中」「検討中」とする割合が比較的高く、資格取得意欲が強い人が多いことがうかがえる。

溶接技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (50人)

性別	男性	98.0	女性	2.0						
年齢	20代	-	30代	10.0	40代	24.0	50代	28.0	60代以上	38.0
学歴	高校卒	48.0	短大・専修等卒	8.0	大学卒	36.0	大学院卒	-	その他	8.0
就業状態	雇用者	58.0	(正規比率	82.8)	自営	18.0	不就業	24.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=50

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
26.0%	56.0%	-	16.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=50

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勤奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	就職活動に役立てる ため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
34.0%	32.0%	26.0%	22.0%	16.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=50

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.0%	10.0%	20.0%	8.0%	18.0%	12.0%	8.0%	40.0%

④学習を始める前の準備

MA N=50

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
26.0%	14.0%	8.0%	-	-	8.0%	50.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=50

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
74.0%	14.0%	8.0%	2.0%	2.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=50

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
24.0%	2.0%	28.0%	8.0%	-	16.0%	4.0%	14.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=50

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	14.0%	2.0%	26.0%	52.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=50

仕事との両立	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	費用の負担、勉強や 通学の時間	特にない
10.0%	10.0%	8.0%	72.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=28

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
50.0%	42.9%	7.1%	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=28

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.1%	10.7%	17.9%	3.6%	10.7%	-	3.6%	67.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=28

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.7%	3.6%	25.0%	-	64.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=50

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.0%	64.0%	16.0%	8.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
21.1%	34.2%	10.5%	5.3%	5.3%	-	5.3%	15.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

84.0%

N= 50

他の主な所持資格(5名以上)

危険物取扱者、フォークリフト技能者、玉掛け技能者、普通自動車免許(二種)、安全管理者、大型自動車免許、衛生管理者、ボイラー技士、クレーン・デリック運転士、電気工事士、施工管理技士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.0%

検討中 24.0%

N=50

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=38

専門的・技術的職業	管理的職業	販売・営業の職業
21.1%	15.8%	15.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。在職時に資格取得した人が半数を超えるが、求職活動中に取得した人もいる。資格取得動機として「仕事上有利」「勤務先の要請や勧奨」が3割を超え、資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割で最も多い。勉強方法として3割弱の人が「公的職業訓練」をあげている。勤務先の要請や勧奨が多いことを反映して、半数の人が職場の積極的応援を受け、4人に1人は資格手当がついている。総合的判断としては3人に2人が「どちらかというプラス」としている。

危険物取扱者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (109人)

性別	男性	89.9	女性	10.1						
年齢	20代	0.9	30代	14.7	40代	30.3	50代	23.9	60代以上	30.3
学歴	高校卒	17.4	短大・専修等卒	11.9	大学卒	51.4	大学院卒	16.5	その他	2.8
就業状態	雇用者	62.4	(正規比率	80.9)	自営	10.1	不就業	23.9	その他・不明	3.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=109

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
22.9%	70.6%	-	5.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=109

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	就職活動に役立てる ため
31.2%	25.7%	24.8%	14.7%	12.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=109

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
5.5%	4.6%	33.9%	9.2%	6.4%	7.3%	3.7%	42.2%

④学習を始める前の準備

MA N=109

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
16.5%	3.7%	3.7%	0.9%	-	6.4%	62.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=109

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
61.5%	29.4%	2.8%	4.6%	0.9%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=109

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.5%	2.8%	1.8%	7.3%	-	6.4%	0.9%	75.2%

⑦利用した経済的支援

MA N=109

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.8%	-	21.1%	73.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=109

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
16.5%	12.8%	11.0%	64.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.7%	57.1%	-	6.5%	10.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.9%	2.6%	11.7%	1.3%	3.9%	-	1.3%	76.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.9%	-	14.3%	-	81.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=109

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.8%	47.7%	19.3%	20.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=66

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
43.9%	16.7%	10.6%	10.6%	3.0%	1.5%	-	7.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

15.6%

N= 109

他の主な所持資格(4名以上)

溶接技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.8%

検討中 13.8%

N=109

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=81

専門的・技術的職業	販売・営業的職業	事務的職業
40.7%	14.8%	13.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に資格取得した人が7割。資格取得動機として「仕事上有利」が最も多いが「勤務先の要請や勸奨」と「自分自身の勉強や自己啓発」を4人に1人があげている。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割強で最も多い。資格取得について、職場の対応は特にないケースが多く、処遇や収入にも特に変化がない人が大半である。資格取得に対する総合評価として、6割は肯定的判断であるが、「非常によかった」とする割合は小さい。

ボイラー技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (97人)

性別	男性	97.9	女性	2.1						
年齢	20代	1.0	30代	6.2	40代	17.5	50代	29.9	60代以上	45.4
学歴	高校卒	43.3	短大・専修等卒	7.2	大学卒	37.1	大学院卒	7.2	その他・不明	5.2
就業状態	雇用者	62.9	(正規比率	67.2)	自営	3.1	不就業	33.0	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=97

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
6.2%	73.2%	4.1%	14.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=97

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立つ ため	資格が必要な職業に 就くため
43.3%	25.8%	24.7%	18.6%	17.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=97

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.1%	7.2%	33.0%	20.6%	24.7%	10.3%	4.1%	40.2%

④学習を始める前の準備

MA N=97

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.7%	10.3%	8.2%	3.1%	1.0%	16.5%	44.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=97

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
51.5%	30.9%	9.3%	5.2%	1.0%	2.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=97

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	2.1%	15.5%	8.2%	5.2%	4.1%	-	62.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=97

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	11.3%	1.0%	17.5%	68.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=97

資格が実際に役に立つか どうかわからない	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
17.5%	13.4%	9.3%	57.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=71

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.7%	50.7%	-	14.1%	14.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=71

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.0%	5.6%	12.7%	1.4%	9.9%	1.4%	-	70.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=71

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
8.5%	7.0%	15.5%	-	73.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=97

非常に良かった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
13.4%	50.5%	15.5%	20.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=62

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.9%	19.4%	9.7%	11.3%	3.2%	3.2%	1.6%	9.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.7%

N= 97

他の主な所持資格(4名以上)

危険物取扱者、電気工事士、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、衛生管理者、フォークリフト技能者、大型自動車免許、簿記、施工管理技士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.2%

検討中 20.6%

N=97

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=65

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
29.2%	20.0%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。本調査では高年齢層が多く、不就業の割合が高い。在職時取得者が7割を超えるが、求職活動中に取得した人もいる。取得動機として「仕事上有利」が4割を超え、「勤務先の要請や勸奨」「自分自身の勉強や自己啓発」が続く。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割で最も多い。職場の応援は特になかったケースが多く、処遇や収入の変化も少ない。資格取得に対する総合評価として、6割超は肯定的だが、「非常に良かった」とする割合は小さい。

安全管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	95.5	女性	4.5						
年齢	20代	-	30代	6.8	40代	25.0	50代	34.1	60代以上	34.1
学歴	高校卒	9.1	短大・専修等卒	20.5	大学卒	65.9	大学院卒	2.3	その他	2.3
就業状態	雇用者	70.5	(正規比率	90.3)	自営	4.5	不就業	25.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	93.2%	-	4.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=44

勤め先からの要請や 勸奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	より高度な仕事、仕事 の範囲を広げたい
65.9%	31.8%	29.5%	15.9%	9.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.4%	13.6%	34.1%	18.2%	4.5%	6.8%	6.8%	36.4%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
20.5%	6.8%	11.4%	4.5%	-	6.8%	59.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
65.9%	11.4%	15.9%	4.5%	2.3%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	2.3%	13.6%	20.5%	-	27.3%	-	31.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	6.8%	-	36.4%	54.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用負担、家庭との両立、教育 機関の信頼性、相談相手	特にない
29.5%	9.1%	2.3%	70.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=41

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.4%	63.4%	2.4%	7.3%	2.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=41

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	9.8	22.0	-	12.2	-	-	53.7

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=41

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	17.1%	-	82.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
22.7%	50.0%	20.5%	6.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=32

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
43.8%	31.3%	9.4%	3.1%	3.1%	-	-	6.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

86.4%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

衛生管理者、危険物取扱者、玉掛け技能者、フォークリフト技能者、普通自動車免許(二種)、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.6%

検討中 31.8%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=33

管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業
39.4%	18.2%	15.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。雇用者の正規比率が高い。資格取得時点は在職時が9割を超える。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が3人に2人にのぼっている。主な勉強方法として4人に1人が「勤務先の勉強会、OJT」をあげており、在職者が現に従事している仕事との関係で取得していることがうかがえるが、「積極的に応援された」と感じている人は多くない。働き方の変化では、2割強が「社内で担当分野が広がった」としている。総合評価としては「どちらかというプラス」とする回答が半数。

衛生管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	87.9	女性	12.1						
年齢	20代	1.0	30代	11.1	40代	17.2	50代	34.3	60代以上	36.4
学歴	高校卒	19.2	短大・専修等卒	6.1	大学卒	68.7	大学院卒	5.1	その他	1.0
就業状態	雇用者	68.7	(正規比率	79.4)	自営	5.1	不就業	25.3	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.0%	97.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため
72.7%	25.3%	10.1%	8.1%	8.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
3.0%	8.1%	26.3%	11.1%	11.1%	5.1%	8.1%	29.3%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.2%	5.1%	11.1%	6.1%	-	11.1%	49.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
53.5%	27.3%	11.1%	4.0%	1.0%	2.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.0%	5.1%	1.0%	13.1%	5.1%	7.1%	1.0%	63.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	2.0%	33.3%	55.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や進め方、 資格が役立つか	特にない
35.4%	14.1%	7.1%	46.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=96

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	53.1%	2.1%	7.3%	2.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=96

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.3%	6.3%	19.8%	1.0%	7.3%	-	1.0%	63.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=96

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.2%	4.2%	11.5%	-	78.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
8.1%	61.6%	19.2%	11.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.7%	26.1%	8.7%	4.3%	2.9%	-	4.3%	1.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

12.1%

N= 99

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.1%

検討中 13.1%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
37.8%	32.4%	13.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に取得した人がほとんどであり、資格取得動機として「勤め先の要請や勧奨」が7割を超える。3人に1人は「勤務先の補助や貸付制度」を利用。また、3人に1人は職場が積極的に応援してくれたとしているが、半数強は「特別の対応なし」。資格取得により「社内で担当分野が広がった」人は約2割、「資格手当がついた」人は約1割で、「変化なし」という割合が高い。総合評価では、「非常によかった」とする割合が小さく、6割超が「どちらかというプラス」という判断。

玉掛け技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (85人)

性別	男性	100.0	女性	-						
年齢	20代	1.2	30代	11.8	40代	45.9	50代	17.6	60代以上	23.5
学歴	高校卒	27.1	短大・専修等卒	16.5	大学卒	41.2	大学院卒	8.2	その他	7.1
就業状態	雇用者	78.8	(正規比率	82.1)	自営	8.2	不就業	11.8	不明	1.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=85

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.2%	92.9%	-	4.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=85

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
57.6%	32.9%	24.7%	4.7%	4.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=85

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.7%	3.5%	16.5%	7.1%	7.1%	5.9%	2.4%	48.2%

④学習を始める前の準備

MA N=85

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
8.2%	4.7%	11.8%	3.5%	-	4.7%	70.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=85

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
95.3%	2.4%	2.4%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=85

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.2%	3.5%	17.6%	34.1%	-	28.2%	-	10.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=85

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.5%	-	43.5%	44.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=85

仕事との両立	資格が実際に役に立つか どうか分からない	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	特にない
7.1%	3.5%	2.4%	83.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=79

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
46.8%	51.9%	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=79

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.5%	3.8%	13.9%	2.5%	1.3%	1.3%	2.5%	68.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=79

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.5%	1.3%	5.1%	-	91.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=85

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
11.8%	56.5%	11.8%	18.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=58

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.8%	48.3%	3.4%	-	1.7%	3.4%	1.7%	3.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

70.6%

N= 85

他の主な所持資格(5名以上)

フォークリフト技能者、溶接技能者、危険物取扱者、簿記、技能士（ものづくり、工事、整備関連分野）、衛生管理者、普通自動車免許（二種）

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.9%

検討中 16.5%

N=85

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

専門的・技術的職業	生産工程の職業	管理的職業
32.4%	21.6%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査では男性が100%。雇用者比率、正規比率が高い。9割超が在職中に資格取得。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が6割弱、「仕事上有利」が3割強。資格の魅力・メリットとして半数近くが「取得が比較的容易」をあげ、おおむね3か月未満で資格を取得している。取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が4割を超え、職場が積極的に応援した比率も比較的高いが、処遇や収入の変化にはあまり結びついていない。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

フォークリフト技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	94.7	女性	5.3						
年齢	20代	2.1	30代	23.2	40代	25.3	50代	24.2	60代以上	25.3
学歴	高校卒	35.8	短大・専修等卒	12.6	大学卒	47.4	大学院卒	1.1	その他・不明	3.2
就業状態	雇用者	73.7	(正規比率	68.6)	自営	8.4	不就業	17.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.1%	81.1%	4.2%	9.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=95

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	就職活動、いずれ役に 立つ
46.3%	34.7%	23.2%	12.6%	9.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
9.5%	1.1%	17.9%	9.5%	5.3%	10.5%	1.1%	46.3%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
10.5%	1.1%	9.5%	5.3%	-	7.4%	67.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
96.8%	2.1%	1.1%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.2%	12.6%	9.5%	41.1%	-	14.7%	-	14.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.3%	-	37.9%	48.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	資格が実際に役に立つか どうかわからない	費用の負担、勉強や通学 の時間、相談相手	特にない
11.6%	7.4%	3.2%	71.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
39.0%	50.6%	1.3%	2.6%	2.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.9%	9.1%	24.7%	-	5.2%	1.3%	2.6%	66.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1.3%	10.4%	1.3%	85.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
16.8%	55.8%	13.7%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
8.7%	62.3%	5.8%	1.4%	1.4%	2.9%	-	10.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

31.6%

N= 95

他の主な所持資格(5名以上)

溶接技能者、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 15.8%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=78

生産工程の職業	事務的職業	専門的・技術的職業
23.1%	15.4%	14.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。約8割が在職中、1割が求職活動中に資格取得。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が5割弱。資格の魅力・メリットとして半数近くが「取得が比較的容易」をあげ、おおむね3か月未満で資格を取得している。主な勉強方法として約4割が「業界団体等の講習会」をあげ、取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が4割弱。職場が積極的に応援した比率も比較的高く、4人に1人は「担当分野が広がった」としている。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

クレーン・デリック運転士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (80人)

性別	男性	100.0	女性	-						
年齢	20代	2.5	30代	6.3	40代	31.3	50代	31.3	60代以上	28.8
学歴	高校卒	33.8	短大・専修等卒	15.0	大学卒	28.8	大学院卒	12.5	その他	10.0
就業状態	雇用者	70.0	(正規比率	85.7)	自営	3.8	不就業	26.3	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=80

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.3%	87.5%	2.5%	7.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=80

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
43.8%	38.8%	15.0%	12.5%	12.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=80

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.8%	5.0%	21.3%	16.3%	11.3%	7.5%	6.3%	30.0%

④学習を始める前の準備

MA N=80

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
18.8%	7.5%	10.0%	1.3%	-	6.3%	61.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=80

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
83.8%	13.8%	2.5%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=80

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.0%	18.8%	17.5%	18.8%	-	10.0%	1.3%	25.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=80

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	10.0%	1.3%	43.8%	40.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=80

仕事との両立	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
21.3%	11.3%	7.5%	55.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=70

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
41.4%	45.7%	2.9%	2.9%	4.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=70

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	8.6%	21.4%	1.4%	7.1%	-	1.4%	60.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=70

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.7%	2.9%	10.0%	2.9%	80.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=80

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.5%	57.5%	15.0%	15.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=56

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.0%	50.0%	10.7%	5.4%	-	3.6%	1.8%	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

96.3%

N= 80

他の主な所持資格(5名以上)

玉掛け技能者、フォークリフト技能者、危険物取扱者、溶接技能者、普通自動車免許(二種)、大型自動車免許、ボイラー技士、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、技術士、電気工事士、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.0%

検討中 23.8%

N=80

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=59

専門的・技術的職業	生産工程の職業	事務的職業
33.9%	16.9%	11.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査では男性が100%。正規比率が高い。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が4割強、「仕事上有利」が4割弱。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が3割。取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が4割強。職場が積極的に応援した比率も比較的高く、2割強は「担当分野が広がった」としている。他の技能系資格も所持している人が多い。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

普通自動車免許(二種)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (57人)

性別	男性	71.9	女性	28.1						
年齢	20代	1.8	30代	19.3	40代	28.1	50代	17.5	60代以上	33.3
学歴	高校卒	19.3	短大・専修等卒	17.5	大学卒	56.1	大学院卒	3.5	その他	3.5
就業状態	雇用者	50.9	(正規比率	72.4)	自営	5.3	不就業	43.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=57

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
47.4%	38.6%	5.3%	5.3%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=57

いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分自身の勉強や自己啓発のため
38.6%	21.1%	17.5%	14.0%	14.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=57

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.3%	7.0%	8.8%	14.0%	7.0%	31.6%	12.3%	42.1%

④学習を始める前の準備

MA N=57

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
14.0%	-	3.5%	1.8%	-	12.3%	70.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=57

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
52.6%	29.8%	15.8%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=57

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
36.8%	43.9%	-	-	-	1.8%	-	14.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=57

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.0%	89.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=57

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
14.0%	12.3%	10.5%	52.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
22.7%	50.0%	9.1%	13.6%	4.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	4.5%	-	-	-	9.1%	86.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	4.5%	4.5%	-	86.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=57

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
43.9%	35.1%	3.5%	17.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=45

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
2.2%	31.1%	4.4%	2.2%	4.4%	2.2%	4.4%	33.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

33.3%

N= 57

他の主な所持資格(4名以上)
簿記、危険物取扱者、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.3%

検討中 8.8%

N=57

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=32

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
25.0%	21.9%	18.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査の回答者では高年齢層が多く、不就業の割合が高い。在学時取得が5割弱、在職時が4割弱。取得動機は「いずれ役に立つかも」が4割弱と最も多く、資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」が4割強、「ライフスタイルに合った働き方に役立つ」が3割強であり、比較的中長期の目的で資格を取得していることがうかがえる。資格が働き方や収入面に結びついた人は少ないが、「非常によかった」との評価が4割を超え、その理由として「将来への備え」があげられている。

大型自動車免許

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (88人)

性別	男性	93.2	女性	6.8						
年齢	20代	-	30代	9.1	40代	29.5	50代	28.4	60代以上	33.0
学歴	高校卒	39.8	短大・専修等卒	9.1	大学卒	39.8	大学院卒	3.4	その他・不明	6.8
就業状態	雇用者	61.4	(正規比率	79.6)	自営	14.8	不就業	22.7	その他	1.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=88

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
21.6%	69.3%	2.3%	5.7%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=88

工作上、資格がある ほうが有利だから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため、仕事の 範囲を広げたい
37.5%	27.3%	19.3%	18.2%	14.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=88

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
17.0%	3.4%	13.6%	21.6%	10.2%	15.9%	6.8%	38.6%

④学習を始める前の準備

MA N=88

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
12.5%	3.4%	8.0%	3.4%	-	19.3%	61.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=88

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
79.5%	17.0%	3.4%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=88

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
38.6%	34.1%	3.4%	-	-	3.4%	-	15.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=88

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.4%	1.1%	11.4%	79.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=88

仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	勉強や通学のための時間、 実際に役に立つか	特にない
18.2%	14.8%	5.7%	61.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
27.9%	36.1%	6.6%	11.5%	18.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.9%	8.2%	6.6%	4.9%	1.6%	3.3%	3.3%	78.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1.6%	3.3%	3.3%	-	91.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=88

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
15.9%	54.5%	17.0%	12.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=62

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
4.8%	29.0%	6.5%	8.1%	3.2%	9.7%	12.9%	22.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

30.7%

N= 88

他の主な所持資格(5名以上)
普通自動車免許(二種)、フォークリフト技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.7%

検討中 13.6%

N=88

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=68

事務的職業	輸送・機械運転の職業	販売・営業の職業
20.6%	16.2%	14.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に取得した人が約7割。取得動機は「仕事上有利」が4割弱、「いずれ役に立つかも」が3割弱。資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」が4割弱。資格取得の活動が職場に知られないようにしていたという人が2割近くあり、比較的高い。資格取得が働き方や収入に結びついた人は少ない。資格取得の総合評価としては、「どちらかというプラス」が半数強で、約7割が肯定的判断。

自動車整備士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (102人)

性別	男性	94.1	女性	5.9						
年齢	20代	1.0	30代	6.9	40代	32.4	50代	24.5	60代以上	35.3
学歴	高校卒	35.3	短大・専修等卒	33.3	大学卒	21.6	大学院卒	2.0	その他	7.8
就業状態	雇用者	57.8	(正規比率	74.6)	自営	19.6	不就業	20.6	その他	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=102

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.5%	69.6%	-	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=102

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
52.0%	38.2%	22.5%	22.5%	9.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=102

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.8%	8.8%	46.1%	36.3%	19.6%	16.7%	1.0%	6.9%

④学習を始める前の準備

MA N=102

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
30.4%	10.8%	6.9%	2.9%	-	10.8%	42.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=102

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
13.7%	21.6%	25.5%	18.6%	12.7%	6.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=102

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
24.5%	3.9%	8.8%	28.4%	1.0%	19.6%	-	12.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=102

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.9%	1.0%	20.6%	70.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=102

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
28.4%	18.6%	11.8%	46.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=71

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
40.8%	40.8%	2.8%	14.1%	1.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=71

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
23.9%	8.5%	8.5%	4.2%	11.3%	-	1.4%	54.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=71

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.9%	9.9%	33.8%	-	54.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=102

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
24.5%	60.8%	10.8%	3.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=87

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.5%	20.7%	4.6%	8.0%	2.3%	6.9%	3.4%	9.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.4%

N= 102

他の主な所持資格(6名以上)

大型自動車免許、普通自動車免許(二種)、危険物取扱者、溶接技能者、フォークリフト技能者、技能士(ものづくり)、玉掛け技能者、ボイラー技士、衛生管理者、電気工事士、技術士、クレーン・デリック運転士、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.9%

検討中 17.6%

N=102

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=81

専門的・技術的職業	サービスの職業	販売・営業の職業
23.5%	19.8%	16.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得時期は在職時が約7割、在学時が3割弱。取得動機としては「仕事上有利」が半数を超え、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」が半数弱で最も多い。職場が積極的に応援してくれたという割合は4割と比較的高く、4人に1人近くが「社内で昇進・昇格に結びついた」、3人に1人が「資格手当がついた」としている。総合的評価として、「非常によかった」「どちらかというプラス」を合わせて8割を超え、肯定的に判断する比率が高い。

建築士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (114人)

性別	男性	76.3	女性	23.7						
年齢	20代	-	30代	12.3	40代	20.2	50代	26.3	60代以上	41.2
学歴	高校卒	16.7	短大・専修等卒	15.8	大学卒	62.3	大学院卒	3.5	その他	1.8
就業状態	雇用者	42.1	(正規比率	70.8)	自営	37.7	不就業	19.3	その他	0.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=114

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.6%	93.9%	1.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=114

工作上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	より高度な仕事をしたかったから
57.0%	44.7%	21.9%	16.7%	14.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=114

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
17.5%	29.8%	45.6%	28.9%	9.6%	14.0%	14.0%	1.8%

④学習を始める前の準備

MA N=114

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
36.8%	8.8%	5.3%	3.5%	-	11.4%	47.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=114

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.8%	8.8%	18.4%	17.5%	15.8%	28.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=114

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
8.8%	30.7%	-	1.8%	0.9%	3.5%	-	50.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=114

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	2.6%	89.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=114

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
57.9%	28.9%	14.0%	30.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=107

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.5%	57.0%	3.7%	4.7%	8.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=107

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
13.1%	7.5%	9.3%	4.7%	22.4%	17.8%	1.9%	43.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=107

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.5%	13.1%	26.2%	3.7%	55.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=114

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
47.4%	32.5%	13.2%	6.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=91

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.3%	28.6%	4.4%	7.7%	2.2%	9.9%	5.5%	5.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.9%

N=114

他の主な所持資格

(施工管理技工、測量士の区分での回答者に建築士資格所持者が含まれている)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.5%

検討中 15.8%

N=114

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=92

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
69.6%	12.0%	8.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比約3:1、本調査では高年齢層が多く、4割弱が自営。資格取得は9割強が在職時。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く6割弱、次いで「資格が必要な職業に就くため」が4割強。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が多い。資格取得に際して「仕事との両立」が課題となった人が6割近くにのぼる。資格取得により「周囲からの評価が高まった」「資格手当がついた」など働き方や収入の変化に結びついた人が比較的多く、総合的判断として「非常によかった」という割合が半数近い。

測量士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (85人)

性別	男性	95.3	女性	4.7						
年齢	20代	2.4	30代	10.6	40代	18.8	50代	29.4	60代以上	38.8
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	16.5	大学卒	70.6	大学院卒	4.7	その他	3.5
就業状態	雇用者	65.9	(正規比率	87.5)	自営	11.8	不就業	21.2	不明	1.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=85

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.8%	78.8%	-	1.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=85

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
56.5%	29.4%	16.5%	15.3%	15.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=85

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.2%	12.9%	44.7%	21.2%	16.5%	12.9%	7.1%	29.4%

④学習を始める前の準備

MA N=85

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
11.8%	9.4%	4.7%	9.4%	-	9.4%	58.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=85

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
23.5%	8.2%	18.8%	22.4%	10.6%	16.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=85

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
32.9%	1.2%	1.2%	-	2.4%	10.6%	1.2%	43.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=85

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.2%	1.2%	4.7%	89.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=85

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
22.4%	8.2%	7.1%	61.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=67

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
17.9%	58.2%	4.5%	7.5%	9.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=67

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.0%	6.0%	9.0%	1.5%	11.9%	1.5%	1.5%	68.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=67

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.0%	1.5%	29.9%	-	65.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=85

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
14.1%	63.5%	8.2%	14.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=66

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
27.3%	31.8%	6.1%	10.6%	3.0%	4.5%	4.5%	7.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

83.5%

N=85

他の主な所持資格(5名以上)

施工管理技士、危険物取扱者、技術士、宅地建物取引主任者、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、建築士、基本情報技術者、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 16.5%

検討中 24.7%

N=85

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=66

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、輸送・機械運転の職業
63.6%	16.7%	4.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得は在職時が約8割、在学時が約2割。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く6割弱、次いで「資格が必要な職業に就くため」が約3割。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割強。資格取得に際し、職場が積極的に応援してくれたケースは少ないが、3割の人が「資格手当がついた」としており、収入面に一定程度結びついている。資格取得に対する総合的判断としては、「どちらかというプラス」が6割強。

電気工事士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	98.1	女性	1.9						
年齢	20代	1.0	30代	9.7	40代	28.2	50代	34.0	60代以上	27.2
学歴	高校卒	40.8	短大・専修等卒	23.3	大学卒	26.2	大学院卒	1.0	その他・不明	8.7
就業状態	雇用者	57.3	(正規比率	79.7)	自営	23.3	不就業	16.5	その他・不明	2.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
38.8%	57.3%	1.0%	1.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	就職活動に役立てるため	資格が必要な職業に就くため
42.7%	26.2%	20.4%	15.5%	14.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
9.7%	8.7%	35.0%	24.3%	14.6%	9.7%	1.9%	28.2%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
22.3%	4.9%	5.8%	2.9%	-	8.7%	53.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.2%	37.9%	20.4%	9.7%	3.9%	1.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
29.1%	1.9%	4.9%	4.9%	2.9%	10.7%	1.0%	40.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	6.8%	1.0%	9.7%	81.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	相談相手やアドバイザーがいない	特にない
13.6%	9.7%	3.9%	67.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=59

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
28.8%	50.8%	-	11.9%	8.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=59

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.8%	5.1%	8.5%	10.2%	8.5%	-	3.4%	72.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=59

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.8%	3.4%	16.9%	1.7%	76.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
16.5%	59.2%	7.8%	16.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=78

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.2%	33.3%	5.1%	1.3%	1.3%	3.8%	2.6%	10.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.7%

N= 103

他の主な所持資格(7名以上)
危険物取扱者、溶接技能者、基本情報技術者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.7%

検討中 15.5%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=84

専門的・技術的職業	管理的職業	建設・採掘の職業
27.4%	15.5%	13.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得時期は4割弱が在学時、6割弱が在職時で、働きながら取得した人がやや多い。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「自分自身の勉強や自己啓発」「いずれ役に立つかも」などやや中長期的な目的で取り組んだ人もいる。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」など。資格取得により「資格手当がついた」人もいるが、全体に処遇等に大きな変化がないケースが多い。資格取得に対する総合的評価としては、「どちらかというプラス」が約6割。

電気主任技術者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	99.0	女性	1.0						
年齢	20代	1.0	30代	9.9	40代	15.8	50代	30.7	60代以上	42.6
学歴	高校卒	18.8	短大・専修等卒	12.9	大学卒	53.5	大学院卒	12.9	その他・不明	2.0
就業状態	雇用者	68.3	(正規比率	81.2)	自営	8.9	不就業	21.8	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
11.9%	85.1%	1.0%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため
41.6%	37.6%	22.8%	17.8%	15.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
16.8%	30.7%	64.4%	19.8%	20.8%	9.9%	9.9%	11.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.8%	3.0%	8.9%	5.0%	-	10.9%	53.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
9.9%	12.9%	21.8%	26.7%	11.9%	16.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.9%	2.0%	-	2.0%	7.9%	4.0%	-	76.2%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	1.0%	11.9%	84.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
43.6%	14.9%	7.9%	39.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.0%	64.0%	1.2%	15.1%	10.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.1%	10.5%	10.5%	3.5%	11.6%	8.1%	1.2%	60.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
14.0%	4.7%	10.5%	1.2%	74.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
25.7%	54.5%	13.9%	5.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=81

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.0%	21.0%	9.9%	3.7%	-	9.9%	3.7%	9.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.1%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)

電気工事士、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、施工管理技士、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、技術士、衛生管理者、基本情報技術者、玉掛け技能者、ボイラー技士、語学検定、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.9%

検討中 14.9%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=79

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
46.8%	17.7%	10.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得は85%が在職時。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「自分の勉強や自己啓発」が4割弱、「勤め先の要請・勸奨」も2割強。資格の魅力・メリットは「経験や知識が活かせる」が6割強と多い。資格取得に際して「仕事との両立」が課題となった人が4割強いる。勤務先の要請という人も少なからずいるが、職場の積極的応援を受けたとする人の比率は低い。資格取得に対する総合的評価としては、「どちらかというプラス」が5割強。

施工管理技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	98.0	女性	2.0						
年齢	20代	-	30代	10.9	40代	27.7	50代	31.7	60代以上	29.7
学歴	高校卒	29.7	短大・専修等卒	18.8	大学卒	45.5	大学院卒	3.0	その他	3.0
就業状態	雇用者	71.3	(正規比率	81.9)	自営	12.9	不就業	13.9	不明	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	昇進・昇格、仕事範囲 の拡大
65.3%	33.7%	28.7%	18.8%	13.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.0%	18.8%	58.4%	18.8%	13.9%	9.9%	1.0%	9.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
19.8%	3.0%	7.9%	1.0%	-	6.9%	56.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
24.8%	17.8%	30.7%	15.8%	5.9%	5.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	5.9%	-	10.9%	5.9%	5.9%	1.0%	69.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.0%	1.0%	20.8%	72.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
37.6%	12.9%	6.9%	48.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=101

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
14.9%	66.3%	1.0%	5.9%	8.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=101

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.9%	7.9%	13.9%	3.0%	14.9%	8.9%	3.0%	57.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=101

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
12.9%	5.9%	20.8%	-	69.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.7%	41.6%	14.9%	8.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=77

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.0%	24.7%	5.2%	11.7%	-	3.9%	5.2%	6.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

47.5%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)
建築士、電気工事士、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.9%

検討中 19.8%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=85

専門的・技術的職業	管理的職業	建設・採掘の職業
50.6%	16.5%	12.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。在職時に取得した人の比率が100%。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く3人に2人、次いで「勤め先の要請・勧奨」が3人に1人。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が6割弱と突出して多い。勤務先の要請も多い中で、職場の応援を受けたという人の比率は高くないが、「担当分野が広がった」「資格手当がついた」など処遇等に変化があったケースもみられる。資格取得に対する総合的評価としては、3人に1人が「非常によかった」と評価している。

宅地建物取引主任者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (110人)

性別	男性	82.7	女性	17.3						
年齢	20代	-	30代	9.1	40代	26.4	50代	27.3	60代以上	37.3
学歴	高校卒	12.7	短大・専修等卒	10.9	大学卒	70.9	大学院卒	1.8	その他・不明	3.6
就業状態	雇用者	46.4	(正規比率	78.4)	自営	20.9	不就業	32.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=110

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
10.9 %	80.9 %	3.6 %	0.9 %

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=110

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから
45.5%	40.9%	17.3%	17.3%	16.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=110

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.1%	16.4%	38.2%	20.0%	8.2%	16.4%	6.4%	26.4%

④学習を始める前の準備

MA N=110

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
28.2%	6.4%	4.5%	1.8%	-	8.2%	53.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=110

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
12.7 %	27.3 %	33.6 %	15.5 %	5.5 %	4.5 %

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=110

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.8 %	20.9 %	-	0.9 %	4.5 %	5.5 %	0.9 %	62.7 %

⑦利用した経済的支援

MA N=110

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	-	9.1%	87.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=110

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
35.5%	16.4%	9.1%	42.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=89

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
18.0%	43.8%	3.4%	14.6%	15.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=89

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.6%	5.6%	7.9%	4.5%	16.9%	5.6%	4.5%	59.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=89

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.0%	2.2%	28.1%	-	67.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=110

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
26.4%	54.5%	9.1%	10.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=89

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
33.7%	31.5%	7.9%	6.7%	-	3.4%	1.1%	11.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

7.3%

N=110

他の主な所持資格

(不動産鑑定士、土地家屋調査士の区分での回答者に宅地建物取引主任者の資格所持者が含まれている)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.5%

検討中 18.2%

N=110

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

管理的職業	販売・営業の職業	専門的・技術的職業、事務的職業
33.8%	23.0%	14.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査では高年齢層が多い。自営比率は2割。8割が在職時に資格取得。取得動機は、「仕事上有利」、次いで「自分の勉強や自己啓発」が4割超。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割弱。職場からの応援を受けた人は多くはないが、「資格手当がついた」人が3割弱で、処遇等に結びついたケースもみられる。資格取得に対する総合的評価としては、「非常によかった」「どちらかというプラス」を合わせて8割が肯定的評価。

不動産鑑定士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (25人)

性別	男性	92.0	女性	8.0						
年齢	20代	-	30代	28.0	40代	36.0	50代	24.0	60代以上	12.0
学歴	高校卒	4.0	短大・専修等卒	-	大学卒	88.0	大学院卒	8.0	その他	-
就業状態	雇用者	64.0	(正規比率	100.0)	自営	32.0	不就業	4.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=25

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.0%	76.0%	16.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=25

工作上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	より高度な仕事をしたいと思ったから	自分自身の勉強や自己啓発のため
44.0%	40.0%	28.0%	28.0%	28.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=25

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
20.0%	44.0%	48.0%	40.0%	8.0%	16.0%	12.0%	4.0%

④学習を始める前の準備

MA N=25

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
48.0%	28.0%	16.0%	16.0%	-	12.0%	24.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=25

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	4.0%	24.0%	20.0%	12.0%	36.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=25

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.0%	44.0%	-	4.0%	12.0%	4.0%	4.0%	28.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=25

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	4.0%	24.0%	56.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=25

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、学習の進め方、学校等がない、相談相手	特にない
44.0%	32.0%	12.0%	24.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=19

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
8	4	3	1	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=19

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7	4	4	-	8	5	3	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=19

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5	4	7	2	8

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=25

非常に良かった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
76.0%	12.0%	12.0%	-

⑬資格を取得して最も良かったと思う点

SA N=22

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.0%	13.6%	-	18.2%	9.1%	9.1%	-	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

88.0%

N=25

他の主な所持資格(3名以上)

宅地建物取引主任者、簿記、土地家屋調査士、マンション管理士、税理士、ファイナンシャル・プランナー、社会保険労務士、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.0%

検討中 24.0%

N=25

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=24

専門的・技術的職業	管理的職業	販売・営業の職業
54.2%	20.8%	12.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、約3割が自営。資格取得は在職時が多いが、仕事を辞めて資格取得に専念した比率が比較的高い。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「資格が必要な職業に就くため」が4割。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」「社会的評価が高い」「適性や志向に合う」など。資格取得時の課題として、4割強の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得に対する総合的評価としては、「非常に良かった」が76%と、きわめて高い。

土地家屋調査士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (47人)

性別	男性	95.7	女性	4.3						
年齢	20代	-	30代	12.8	40代	29.8	50代	38.3	60代以上	19.1
学歴	高校卒	6.4	短大・専修等卒	19.1	大学卒	68.1	大学院卒	2.1	その他	4.3
就業状態	雇用者	23.4	(正規比率	90.9)	自営	72.3	不就業	-	不明	4.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=47

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.3%	87.2%	8.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=47

将来の独立のため	資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高い収入を得るため
40.4%	38.3%	36.2%	23.4%	19.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=47

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.1%	12.8%	40.4%	25.5%	12.8%	17.0%	19.1%	10.6%

④学習を始める前の準備

MA N=47

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
66.0%	4.3%	8.5%	2.1%	-	27.7%	21.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=47

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	6.4%	14.9%	23.4%	17.0%	38.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=47

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.3%	27.7%	-	-	25.5%	-	2.1%	40.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=47

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.1%	-	2.1%	87.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=47

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
55.3%	42.6%	23.4%	17.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=41

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
29.3%	43.9%	-	12.2%	12.2%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=41

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.9%	4.9%	7.3%	2.4%	12.2%	36.6%	-	43.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=41

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.4%	4.9%	9.8%	2.4%	73.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=47

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
57.4%	31.9%	8.5%	2.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=42

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.5%	26.2%	2.4%	7.1%	7.1%	-	4.8%	11.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

80.9%

N= 47

他の主な所持資格(4名以上)

測量士、宅地建物取引主任者、行政書士、司法書士、簿記、施工管理技士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.8%

検討中 14.9%

N=47

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=45

専門的・技術的職業	管理的職業	その他の職業
80.0%	13.3%	4.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、本調査では7割が自営。8割が専門的・技術的職業に従事。資格取得時期は9割弱が在職時。資格取得動機として、「将来の独立のため」が4割で最も多く、「資格が必要な職業に就くため」「仕事上有利」が続く。取得時の課題として、半数以上の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得により「転職あるいは独立した」人は4割弱と、資格取得時の目標を実現した人が多い。資格取得に対する総合的判断としては、「非常によかった」が約6割にのぼっている。

マンション管理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (46人)

性別	男性	91.3	女性	8.7						
年齢	20代	2.2	30代	6.5	40代	26.1	50代	26.1	60代以上	39.1
学歴	高校卒	15.2	短大・専修等卒	6.5	大学卒	71.7	大学院卒	2.2	その他	4.3
就業状態	雇用者	60.9	(正規比率	75.0)	自営	19.6	不就業	19.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=46

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.2%	80.4%	4.3%	8.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=46

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
45.7%	39.1%	28.3%	26.1%	19.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=46

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
13.0%	6.5%	50.0%	23.9%	26.1%	15.2%	13.0%	17.4%

④学習を始める前の準備

MA N=46

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
32.6%	2.2%	2.2%	2.2%	-	13.0%	50.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=46

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
15.2%	28.3%	26.1%	19.6%	6.5%	4.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=46

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
2.2%	10.9%	-	4.3%	17.4%	2.2%	-	60.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=46

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	6.5%	89.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=46

仕事との両立	資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	特にない
32.6%	21.7%	17.4%	39.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=37

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
8.1%	56.8%	-	27.0%	8.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=37

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.7%	-	2.7%	13.5%	2.7%	2.7%	78.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=37

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.4%	-	8.1%	2.7%	81.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=46

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
4.3%	39.1%	28.3%	28.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=20

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	10.0%	20.0%	10.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

97.8%

N= 46

他の主な所持資格(4名以上)

宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、簿記、行政書士、施工管理技士、普通自動車免許(二種)、衛生管理者、建築士、電気工事士、危険物取扱者、秘書検定、社会保険労務士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.9%

検討中 32.6%

N=46

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=37

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
29.7%	24.3%	18.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査では高年齢層が多い。資格取得時期は8割が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発のため」がトップであり、「仕事上有利」「能力や可能性を試したい」が続く。資格の魅力・メリットとして半数の人が「経験や知識を活かせる」としており、「次の資格取得のステップになる」も4人に1人があげている。中長期的な目標で資格を取得した人が多いことがうかがえる。処遇等の具体的な変化に結びついている人は少なく、総合的評価も3割弱が「まだ判断できない」としている。

基本情報技術者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (83人)

性別	男性	84.3	女性	15.7						
年齢	20代	3.6	30代	26.5	40代	42.2	50代	18.1	60代以上	9.6
学歴	高校卒	12.0	短大・専修等卒	21.7	大学卒	60.2	大学院卒	4.8	その他	1.2
就業状態	雇用者	83.1	(正規比率	79.7)	自営	7.2	不就業	9.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=83

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
24.1%	73.5%	-	2.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=83

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	就職活動に役立てる ため
38.6%	27.7%	16.9%	15.7%	14.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=83

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.5%	8.4%	41.0%	26.5%	34.9%	-	-	18.1%

④学習を始める前の準備

MA N=83

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
9.6%	8.4%	2.4%	2.4%	-	7.2%	68.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=83

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
28.9%	30.1%	19.3%	15.7%	1.2%	4.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=83

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
16.9%	-	-	-	3.6%	8.4%	3.6%	63.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=83

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	1.2%	13.3%	84.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=83

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、学習の進め方、 実際に役立つか	特にない
22.9%	10.8%	8.4%	59.0%

* 第二種情報処理技術者など前身となる資格の取得者を含む

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.4%	63.9%	3.3%	6.6%	8.2%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
13.1%	1.6%	4.9%	4.9%	1.6%	6.6%	1.6%	65.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
31.1%	4.9%	18.0%	1.6%	50.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=83

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.0%	55.4%	21.7%	10.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=56

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.0%	5.4%	12.5%	7.1%	-	3.6%	-	14.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

14.5%

N= 83

他の主な所持資格

ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.8%

検討中 26.5%

N=83

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=75

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
62.7%	9.3%	9.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率が高い。資格取得時期は在学時と在職時が1:3で在職時が多い。取得動機としては「仕事上有利」が4割弱。資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」のほか、3人に1人が「次の資格取得のステップになる」をあげる。職場から応援された人の比率は低いが、「勤務先から祝い金や報奨金が出た」人が3割強おり、職場で一定の評価をされていることがうかがえる。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

応用情報技術者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (65人)

性別	男性	87.7	女性	12.3						
年齢	20代	4.6	30代	24.6	40代	35.4	50代	29.2	60代以上	6.2
学歴	高校卒	7.7	短大・専修等卒	12.3	大学卒	55.4	大学院卒	20.0	その他	4.6
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	90.4)	自営	9.2	不就業	9.2	不明	1.5

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=65

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.9%	81.5%	1.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=65

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	勤め先からの要請や勧奨があったから	自分の能力や可能性を試したかったから	より高い収入を得るため
56.9%	41.5%	26.2%	20.0%	15.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=65

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
7.7%	7.7%	61.5%	21.5%	38.5%	3.1%	-	13.8%

④学習を始める前の準備

MA N=65

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
10.8%	-	1.5%	-	-	12.3%	69.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=65

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
30.8%	27.7%	12.3%	15.4%	6.2%	7.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=65

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.5%	1.5%	-	-	7.7%	6.2%	-	83.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=65

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	9.2%	90.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=65

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、家庭との両立	特にない
30.8%	23.1%	6.2%	50.8%

* 第一種情報処理技術者など前身となる資格の取得者を含む

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=53

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.5%	67.9%	-	17.0%	3.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=53

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.3%	1.9%	3.8%	15.1%	18.9%	-	-	47.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=53

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
45.3%	1.9%	26.4%	1.9%	35.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=65

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.3%	69.2%	9.2%	9.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=53

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
58.5%	1.9%	17.0%	11.3%	-	1.9%	1.9%	3.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

90.8%

N= 65

他の主な所持資格(3名以上)

基本情報技術者、IT関連企業の能力認定、簿記、ファイナンシャル・プランナー
ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.8%

検討中 26.2%

N=65

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
70.7%	20.7%	3.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。取得時期は8割強が在職時。取得動機としては「仕事上有利」が6割弱。資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」が6割強と多く、4割弱が「次の資格取得のステップになる」をあげる。職場から応援された人の比率は低いが、「勤務先から祝い金や報奨金が出た」人の比率が基本情報技術者を上回る半数近くにとのぼり、両資格は一時金で報奨される場合が多いことがうかがえる。総合評価としては「どちらかというプラス」が7割。

日商PC検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (82人)

性別	男性	22.0	女性	78.0						
年齢	20代	7.3	30代	25.6	40代	29.3	50代	26.8	60代以上	11.0
学歴	高校卒	26.8	短大・専修等卒	29.3	大学卒	35.4	大学院卒	3.7	その他	4.9
就業状態	雇用者	63.4	(正規比率	48.1)	自営	4.9	不就業	25.6	その他・不明	6.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=82

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
20.7%	51.2%	3.7%	19.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=82

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立てる ため	自分の能力や可能性を 試したかったから	より高度な仕事、将来 の転職、いずれ役立つ
45.1%	45.1%	34.1%	23.2%	15.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=82

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.5%	8.5%	34.1%	35.4%	25.6%	18.3%	3.7%	29.3%

④学習を始める前の準備

MA N=82

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
41.5%	3.7%	6.1%	1.2%	-	23.2%	34.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=82

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
50.0%	30.5%	13.4%	6.1%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=82

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.0%	36.6%	18.3%	-	2.4%	3.7%	-	25.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=82

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	17.1%	1.2%	11.0%	64.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=82

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	仕事との両立	特にない
18.3%	13.4%	12.2%	51.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=42

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.7%	38.1%	-	23.8%	19.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=42

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.4%	4.8%	16.7%	2.4%	21.4%	14.3%	-	47.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=42

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.4%	4.8%	7.1%	-	81.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=82

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
26.8%	56.1%	9.8%	7.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
29.4%	27.9%	14.7%	1.5%	-	4.4%	7.4%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.3%

N= 82

他の主な所持資格(6名以上)

簿記、語学検定、IT関連企業の能力認定、秘書検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、基本情報技術者、医療事務、ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.6%

検討中 29.3%

N=82

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業
58.6%	12.1%	10.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。正規雇用比率が低い。事務的職業従事者が多い。取得時期は約半数が在職時であるが、2割が求職活動中。公的職業訓練の利用率も約2割。取得動機として、「仕事上有利」と「自分自身の勉強や自己啓発」が並び、仕事のために取得する人と中長期的目的の人とが混在することがうかがえる。資格取得により「周囲からの評価が高まった」など働き方の変化に結びついた人もいるが、報奨金等が出た人は少ない。「非常によかった」「どちらかという」を合わせて8割が肯定的評価。

IT関連企業の能力認定*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	50.5	女性	49.5						
年齢	20代	4.2	30代	31.6	40代	44.2	50代	9.5	60代以上	10.5
学歴	高校卒	10.5	短大・専修等卒	27.4	大学卒	50.5	大学院卒	6.3	その他	5.3
就業状態	雇用者	66.3	(正規比率	63.5)	自営	7.4	不就業	25.3	その他	1.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.4%	64.2%	6.3%	21.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=95

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立てる ため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事の範囲を広げたい と思ったから
46.3%	31.6%	26.3%	18.9%	15.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.6%	16.8%	45.3%	31.6%	21.1%	10.5%	-	23.2%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
30.5%	5.3%	5.3%	4.2%	1.1%	21.1%	47.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
51.6%	33.7%	9.5%	4.2%	-	1.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.2%	24.2%	7.4%	1.1%	3.2%	12.6%	-	45.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	9.5%	1.1%	24.2%	56.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

学費、教材費など費用 の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
22.1%	22.1%	11.6%	49.5%

* JAVAプログラミング能力認定、オラクルマスター、シスコ技術者認定、マイクロソフト・オフィス・スペシャリストなど

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
26.2%	31.1%	3.3%	24.6%	11.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.2%	4.9%	13.1%	1.6%	18.0%	1.6%	1.6%	62.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
13.1%	3.3%	6.6%	-	77.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
15.8%	52.6%	17.9%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=65

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.8%	20.0%	6.2%	4.6%	-	3.1%	1.5%	7.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

12.6%

N=95

他の主な所持資格

ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 15.8%

検討中 21.1%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=71

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業、サービスの職業
36.6%	36.6%	8.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。専門的・技術的職業従事者と事務的職業従事者がそれぞれ3人に1人で並ぶ。取得時期は6割強が在職時、2割強が求職活動中。公的職業訓練の利用率は1割弱。4人に1人が「勤務先の補助や貸付制度」を利用している。取得動機として、「仕事上有利」が半数弱、「自分自身の勉強や自己啓発」が約3割。職場から応援された人の比率は他のIT分野の資格よりやや高いが、収入等へ反映された人の割合は高くない。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

簿記

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	35.4	女性	64.6						
年齢	20代	5.2	30代	25.0	40代	27.1	50代	32.3	60代以上	10.4
学歴	高校卒	37.5	短大・専修等卒	24.0	大学卒	31.3	大学院卒	5.2	その他	2.1
就業状態	雇用者	56.3	(正規比率	63.0)	自営	5.2	不就業	34.4	その他・不明	4.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
60.4%	27.1%	5.2%	3.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため
30.2%	29.2%	25.0%	19.8%	18.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.8%	11.5%	27.1%	21.9%	16.7%	8.3%	1.0%	15.6%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
26.0%	6.3%	2.1%	3.1%	-	8.3%	55.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
19.8%	24.0%	25.0%	22.9%	8.3%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
56.3%	11.5%	3.1%	3.1%	4.2%	-	-	20.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.2%	3.1%	2.1%	83.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	特にない
17.7%	11.5%	8.3%	62.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.2%	46.2%	-	19.2%	15.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	7.7%	3.8%	-	7.7%	-	-	76.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.8%	-	11.5%	-	84.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
21.9%	55.2%	8.3%	14.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=74

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.1%	29.7%	16.2%	1.4%	-	4.1%	-	6.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

4.2%

N= 96

他の主な所持資格

(他の資格を併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.3%

検討中 16.7%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=61

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
44.3%	16.4%	13.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。不就業が多い。事務的職業従事者が多い。取得時期は6割が在学時。取得動機として「仕事上有利」と「就職活動に役立てるため」が約3割であり、在学時に就職活動を意識して取得するケースが多いことがうかがえる。在職中に資格取得した人では、「資格手当がついた」が1割強あるほかは、処遇等に反映されたという割合は小さい。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強で、全体としては8割弱が肯定的評価。

公認会計士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (51人)

性別	男性	90.2	女性	9.8						
年齢	20代	2.0	30代	43.1	40代	31.4	50代	19.6	60代以上	3.9
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.0	大学卒	86.3	大学院卒	9.8	その他	2.0
就業状態	雇用者	60.8	(正規比率	93.5)	自営	37.3	不就業	2.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=51

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.0%	21.6%	23.5%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=51

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	より高い収入を得るため	工作上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから
43.1%	37.3%	33.3%	29.4%	21.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=51

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
27.5%	58.8%	23.5%	43.1%	7.8%	9.8%	9.8%	2.0%

④学習を始める前の準備

MA N=51

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
80.4%	17.6%	11.8%	3.9%	3.9%	23.5%	9.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=51

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	2.0%	5.9%	23.5%	33.3%	33.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=51

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.8%	76.5%	-	-	5.9%	-	-	5.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=51

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.8%	84.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=51

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
47.1%	31.4%	21.6%	23.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=11

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	3	1	1	3

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=11

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2	1	1	1	2	5	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=11

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3	5	3	1	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=51

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
62.7%	27.5%	5.9%	3.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	13.0%	2.2%	23.9%	2.2%	6.5%	2.2%	8.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

78.4%

N= 51

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、税理士、語学検定、ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、証券アナリスト、基本情報技術者、IT関連企業の能力認定、中小企業診断士、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.8%

検討中 25.5%

N=51

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=50

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
50.0%	24.0%	18.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営が4割弱。取得時期は在学時が約半数、仕事を辞めて学習に専念した人と働きながら取得した人がそれぞれ2割強と分かれる。資格の魅力・メリットとして「社会的評価が高い」をあげる人が6割近くにのぼる。主な勉強方法は4人に3人が「資格取得スクール」、学習を始める前の準備として8割の人が学校等の情報収集をするなど周到な準備を行っている。課題として半数近くの人が「勉強や通学のための時間」をあげている。総合的評価は「非常によかった」が6割を超える。

税理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (55人)

性別	男性	72.7	女性	27.3						
年齢	20代	-	30代	14.5	40代	23.6	50代	36.4	60代以上	25.5
学歴	高校卒	9.1	短大・専修等卒	9.1	大学卒	56.4	大学院卒	20.0	その他	5.5
就業状態	雇用者	47.3	(正規比率	96.2)	自営	41.8	不就業	10.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=55

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.3%	85.5%	1.8%	1.8%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=55

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	将来の独立のため	自分自身の勉強や自己啓発のため	安定した職業に就くため
36.4%	32.7%	32.7%	21.8%	20.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=55

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.7%	29.1%	49.1%	32.7%	-	10.9%	12.7%	9.1%

④学習を始める前の準備

MA N=55

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
47.3%	16.4%	3.6%	7.3%	-	12.7%	34.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=55

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.6%	-	1.8%	1.8%	5.5%	85.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=55

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
7.3%	49.1%	-	-	12.7%	12.7%	-	16.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=55

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.3%	85.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=55

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
40.0%	30.9%	29.1%	30.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=47

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
25.5%	46.8%	6.4%	10.6%	8.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=47

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	2.1%	6.4%	2.1%	21.3%	12.8%	8.5%	57.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=47

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.6%	8.5%	8.5%	6.4%	66.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=55

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
43.6%	34.5%	7.3%	14.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=43

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.2%	9.3%	4.7%	4.7%	4.7%	9.3%	18.6%	11.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.5%

N= 55

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、ファイナンシャル・プランナー、行政書士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.1%

検討中 14.5%

N=55

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=49

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
42.9%	34.7%	16.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。4割が自営。在職時に取得した人が多い。資格取得動機として、「資格が必要な職業に就くため」に次いで3割強が「仕事上有利」「将来の独立のため」をあげている。主な勉強方法は約半数が「資格取得スクール」、学習を始める前の準備として半数弱の人が学校等の情報収集を行っている。課題として4割が「仕事との両立」をあげている。在職中の資格取得により「転職・独立した」人の割合は1割強。総合的判断として「非常によかった」は4割強で、肯定的判断が全体として8割弱。

証券アナリスト

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (47人)

性別	男性	87.2	女性	12.8						
年齢	20代	4.3	30代	14.9	40代	40.4	50代	36.2	60代以上	4.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	4.3	大学卒	68.1	大学院卒	27.7	その他	-
就業状態	雇用者	83.0	(正規比率	97.4)	自営	10.6	不就業	6.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=47

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=47

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	より高度な仕事をし たいと思ったから
57.4%	38.3%	34.0%	27.7%	25.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=47

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
21.3%	23.4%	53.2%	31.9%	6.4%	4.3%	4.3%	8.5%

④学習を始める前の準備

MA N=47

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
36.2%	6.4%	8.5%	6.4%	-	14.9%	44.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=47

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.3%	2.1%	6.4%	29.8%	36.2%	21.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=47

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.3%	12.8%	-	2.1%	23.4%	8.5%	-	48.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=47

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.1%	2.1%	40.4%	48.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=47

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
53.2%	34.0%	10.6%	23.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=47

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.1%	57.4%	-	12.8%	10.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=47

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	10.6%	21.3%	10.6%	14.9%	6.4%	8.5%	46.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=47

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
17.0%	-	2.1%	4.3%	74.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=47

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.8%	53.2%	12.8%	4.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
53.8%	20.5%	15.4%	2.6%	2.6%	-	-	2.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.4%

N= 47

他の主な所持資格(3名以上)

ファイナンシャル・プランナー、簿記、語学検定、宅地建物取引主任者、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.4%

検討中 38.3%

N=47

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=44

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
38.6%	31.8%	18.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。取得時期は在職中が100%。動機として、6割近くが「仕事上有利」を、資格の魅力・メリットとして半数強が「経験や知識を活かせる」をあげている。主な勉強方法は約4人に1人が「通信教育」。「勤務先の補助や貸付制度」を利用した割合が4割と高い。課題は半数強の人が「仕事との両立」。2割強が「社内で担当分野が広がった」など、働き方に一定の反映がみられる。総合的判断として8割が肯定的評価で、「非常によかった」は約3割。

ファイナンシャル・プランナー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	63.4	女性	36.6						
年齢	20代	1.0	30代	26.7	40代	25.7	50代	33.7	60代以上	12.9
学歴	高校卒	15.8	短大・専修等卒	9.9	大学卒	67.3	大学院卒	5.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	73.3	(正規比率	74.3)	自営	6.9	不就業	17.8	その他・不明	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.0%	85.1%	5.0%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	勤め先からの要請や勧奨があったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから
41.6%	40.6%	22.8%	17.8%	12.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
15.8%	8.9%	49.5%	19.8%	16.8%	13.9%	5.9%	11.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
31.7%	2.0%	6.9%	2.0%	1.0%	14.9%	43.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.7%	39.6%	15.8%	11.9%	5.0%	1.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	7.9%	-	4.0%	24.8%	3.0%	-	59.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	1.0%	18.8%	69.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
46.5%	15.8%	12.9%	26.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
15.1%	55.8%	5.8%	11.6%	9.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.1%	1.2%	4.7%	5.8%	10.5%	3.5%	1.2%	68.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.5%	4.7%	7.0%	1.2%	81.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
13.9%	55.4%	13.9%	16.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=70

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.3%	7.1%	2.9%	4.3%	1.4%	1.4%	2.9%	12.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

4.0%

N= 101

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 15.8%

検討中 26.7%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=82

事務的職業	販売・営業の職業	管理的職業
36.6%	25.6%	15.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率がやや高い。在職時に取得した人が多い。取得動機として、「仕事上有利」と「自分自身の勉強や自己啓発」が4割強でほぼ並び、仕事のために取得する人と中長期的目的のひとが混在することがうかがえる。主な勉強方法は約4人に1人が「通信教育」、課題として「仕事との両立」をあげる人が多い。勤め先からの要請で取得した人も2割強いるが、職場からの応援を受けたという人は多くはなく、処遇等への反映はあまりみられない。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

中小企業診断士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (58人)

性別	男性	94.8	女性	5.2						
年齢	20代	-	30代	12.1	40代	34.5	50代	24.1	60代以上	29.3
学歴	高校卒	1.7	短大・専修等卒	-	大学卒	69.0	大学院卒	25.9	その他	3.4
就業状態	雇用者	70.7	(正規比率	92.7)	自営	17.2	不就業	12.1	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=58

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.7%	91.4%	5.2%	1.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=58

自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから
53.4%	37.9%	36.2%	34.5%	22.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=58

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.1%	20.7%	56.9%	51.7%	10.3%	17.2%	17.2%	6.9%

④学習を始める前の準備

MA N=58

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
63.8%	12.1%	13.8%	6.9%	-	20.7%	25.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=58

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.7%	-	25.9%	37.9%	25.9%	8.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=58

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.4%	27.6%	-	3.4%	34.5%	3.4%	1.7%	19.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=58

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.7%	-	29.3%	53.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=58

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
46.6%	37.9%	24.1%	22.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=53

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.5%	34.0%	-	28.3%	9.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=53

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.3%	17.0%	20.8%	3.8%	28.3%	15.1%	18.9%	43.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=53

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.4%	9.4%	17.0%	5.7%	66.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=58

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
39.7%	48.3%	6.9%	5.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.3%	25.5%	7.8%	2.0%	7.8%	3.9%	3.9%	5.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.3%

N= 58

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、語学検定、応用情報技術者、社会保険労務士、行政書士、販売士、技能士（オフィス、サービス関連分野）、基本情報技術者、IT企業の能力認定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.2%

検討中 25.9%

N=58

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=51

管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業
41.2%	29.4%	21.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率、雇用者の正規比率が高い。取得時期は9割が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割強、次いで「より高度な仕事をしたい」が4割弱。資格の魅力・メリットとしては半数以上が「経験や知識を活かせる」「適性や志向に合う」をあげる。専門性を現職で活かすことを目的とする人が多いことがうかがえる。主な勉強方法は「通信教育」と「資格スクール」。資格取得により「評価が高まった」「担当分野が広がった」とする人が2割を超える。総合的評価として「非常によかった」は約4割。

社会保険労務士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	75.2	女性	24.8						
年齢	20代	-	30代	10.9	40代	31.7	50代	27.7	60代以上	29.7
学歴	高校卒	5.9	短大・専修等卒	7.9	大学卒	77.2	大学院卒	7.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	56.4	(正規比率	82.5)	自営	19.8	不就業	20.8	その他・不明	3.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.0%	76.2%	11.9%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

自分自身の勉強や自己啓発のため	工作上、資格があるほうが有利だから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	将来の独立のため	自分の能力や可能性を試したかったから
45.5%	39.6%	30.7%	22.8%	22.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
24.8%	21.8%	51.5%	36.6%	9.9%	17.8%	17.8%	8.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
64.4%	5.9%	9.9%	2.0%	1.0%	12.9%	30.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.0%	7.9%	29.7%	22.8%	13.9%	20.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	37.6%	-	-	26.7%	-	-	31.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	5.0%	68.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
43.6%	26.7%	13.9%	24.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.8%	31.2%	5.2%	31.2%	24.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.5%	7.8%	16.9%	1.3%	20.8%	11.7%	7.8%	53.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.8%	3.9%	6.5%	3.9%	79.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
31.7%	45.5%	12.9%	9.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=78

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
47.4%	19.2%	5.1%	-	2.6%	1.3%	10.3%	11.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.2%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)

簿記、宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、行政書士、衛生管理者、危険物取扱者、語学検定、旅行業務取扱管理者、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.9%

検討中 24.8%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=78

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
33.3%	30.8%	23.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約3:1。自営、不就業がそれぞれ約2割。資格取得時期は4人に3人が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割弱、次いで「仕事上有利」が4割。「将来の独立のため」も2割強。資格の魅力・メリットとしては半数以上が「経験や知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法は「資格取得スクール」と「通信教育」。課題は「仕事との両立」。「資格取得活動が職場に知られないようにしていた」人が4人に1人。転職・独立した人は約1割。総合的評価として「非常によかった」は3割強。

弁理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (35人)

性別	男性	94.3	女性	5.7						
年齢	20代	-	30代	25.7	40代	40.0	50代	25.7	60代以上	8.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	37.1	大学院卒	62.9	その他	-
就業状態	雇用者	77.1	(正規比率	92.6)	自営	22.9	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=35

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
5.7%	77.1%	8.6%	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=35

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから	より高い収入を得るため	仕事の範囲を広げたいと思ったから
51.4%	48.6%	42.9%	28.6%	28.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=35

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
34.3%	34.3%	65.7%	51.4%	2.9%	11.4%	5.7%	-

④学習を始める前の準備

MA N=35

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
80.0%	37.1%	20.0%	11.4%	-	28.6%	11.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=35

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	2.9%	-	14.3%	14.3%	68.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=35

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	60.0%	-	-	14.3%	2.9%	2.9%	17.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=35

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	5.7%	62.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=35

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
45.7%	42.9%	31.4%	25.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	33.3%	11.1%	3.7%	18.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.5%	3.7%	25.9%	11.1%	40.7%	33.3%	25.9%	14.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
18.5%	33.3%	14.8%	18.5%	37.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=35

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
54.3%	31.4%	5.7%	8.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=30

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
26.7%	20.0%	6.7%	-	16.7%	10.0%	-	13.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.7%

N= 35

他の主な所持資格(3名以上)

危険物取扱者、行政書士、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者、応用情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.3%

検討中 20.0%

N=35

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=35

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、その他の職業
82.9%	11.4%	2.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営は約2割、雇用者の正規比率が高い。資格取得時期は在職時が8割弱。資格の魅力・メリットとして3人に2人が「経験・知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法としては「資格取得スクール」が多く、学校等の情報収集をした人が8割と事前準備を周到に行った人が多い。職場の応援を受けた人が多く、「評価が高まった」が4割、3人に1人が「基本給アップ」、「転職・独立」など、働き方や収入に反映された比率が高い。総合的判断として「非常によかった」が半数を超える。

司法書士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (67人)

性別	男性	83.6	女性	16.4						
年齢	20代	4.5	30代	20.9	40代	34.3	50代	20.9	60代以上	19.4
学歴	高校卒	10.4	短大・専修等卒	4.5	大学卒	71.6	大学院卒	9.0	その他	4.5
就業状態	雇用者	19.4	(正規比率	100.0)	自営	76.1	不就業	4.5	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=67

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
9.0%	56.7%	26.9%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=67

将来の独立のため	資格が必要な職業に就くため	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事、自己啓発、可能性を試す
38.8%	37.3%	23.9%	22.4%	20.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=67

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
11.9%	41.8%	49.3%	43.3%	3.0%	26.9%	22.4%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=67

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
61.2%	11.9%	10.4%	3.0%	-	22.4%	22.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=67

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	1.5%	6.0%	22.4%	13.4%	50.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=67

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.0%	44.8%	-	1.5%	11.9%	3.0%	-	31.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=67

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	3.0%	-	85.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=67

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
40.3%	22.4%	17.9%	28.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=38

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.1%	44.7%	-	7.9%	26.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=38

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.6%	7.9%	-	7.9%	39.5%	2.6%	44.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=38

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	15.8%	2.6%	10.5%	68.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=67

非常に良かった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
46.3%	38.8%	6.0%	9.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=57

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
28.1%	8.8%	-	17.5%	3.5%	8.8%	22.8%	7.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

68.7%

N= 67

他の主な所持資格(4名以上)

行政書士、宅地建物取引主任者、簿記、普通自動車免許(二種)、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランナー

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.5%

検討中 17.9%

N=67

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=64

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業、その他の職業
84.4%	6.3%	4.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、4人に3人が自営。取得時期は在職時が6割弱で最も多いが、4人に1人は仕事を辞めて学習に専念している。資格取得動機は「将来の独立のため」が4割弱で最多。資格の魅力・メリットとして約半数の人が「経験・知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法としては「資格取得スクール」が多く、学校等の情報収集をした人が6割。在職時に資格取得した人では取得により「転職・独立」が4割、「副収入を得た」人が1割。総合的評価として「非常に良かった」が半数弱。

行政書士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (116人)

性別	男性	83.6	女性	16.4						
年齢	20代	3.4	30代	12.1	40代	20.7	50代	34.5	60代以上	29.3
学歴	高校卒	5.2	短大・専修等卒	6.0	大学卒	73.3	大学院卒	8.6	その他	6.9
就業状態	雇用者	52.6	(正規比率	86.9)	自営	28.4	不就業	17.2	不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=116

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
25.0%	58.6%	7.8%	1.7%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=116

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	将来の独立のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
50.0%	30.2%	25.0%	19.8%	19.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=116

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
8.6%	8.6%	37.9%	29.3%	42.2%	15.5%	6.9%	46.6%

④学習を始める前の準備

MA N=116

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
30.2%	8.6%	4.3%	1.7%	-	8.6%	52.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=116

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.9%	22.4%	26.7%	10.3%	6.0%	7.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=116

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.7%	9.5%	-	-	20.7%	0.9%	0.9%	62.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=116

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	-	96.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=116

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
25.9%	20.7%	20.7%	43.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=68

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	36.8%	1.5%	27.9%	33.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=68

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	1.5%	-	1.5%	2.9%	10.3%	2.9%	82.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=68

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1.5%	1.5%	1.5%	-	95.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=116

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
17.2%	44.0%	17.2%	21.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=71

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
23.9%	18.3%	1.4%	2.8%	1.4%	7.0%	7.0%	26.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

67.2%

N= 116

他の主な所持資格(5名以上)

宅地建物取引主任者、簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、基本情報技術者、衛生管理者、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.9%

検討中 21.6%

N=116

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=94

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
30.9%	29.8%	26.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約5:1。自営は3割弱。取得時期は6割弱が在職時、4人に1人が在学時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割。「将来の独立のため」も4人に1人。資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」「次の資格取得のステップ」が4割を超え、現職とは別に中長期的目標を持つ人が多いことがうかがえる。職場の応援は受けず、資格取得の活動を職場に知られないようにしていた人が3人に1人、取得後の働き方の変化も小さい。総合的には肯定的評価が多いが、判断が分かれている。

産業カウンセラー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (49人)

性別	男性	57.1	女性	42.9						
年齢	20代	2.0	30代	20.4	40代	36.7	50代	28.6	60代以上	12.2
学歴	高校卒	8.2	短大・専修等卒	6.1	大学卒	75.5	大学院卒	6.1	その他・不明	4.1
就業状態	雇用者	77.6	(正規比率	71.1)	自営	12.2	不就業	10.2	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=49

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	87.8%	8.2%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=49

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから
67.3%	42.9%	28.6%	24.5%	20.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=49

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
4.1%	10.2%	51.0%	65.3%	16.3%	20.4%	28.6%	10.2%

④学習を始める前の準備

MA N=49

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
57.1%	12.2%	10.2%	8.2%	6.1%	26.5%	22.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=49

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.1%	4.1%	65.3%	20.4%	4.1%	2.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=49

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.1%	18.4%	-	53.1%	6.1%	-	-	14.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=49

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	6.1%	55.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=49

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、実際に役立つか	特にない
51.0%	46.9%	20.4%	20.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=43

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
9.3%	39.5%	2.3%	27.9%	20.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=43

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.3%	16.3%	2.3%	11.6%	11.6%	14.0%	58.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=43

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	95.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=49

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.7%	36.7%	14.3%	14.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=35

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.4%	20.0%	-	-	17.1%	2.9%	20.0%	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

93.9%

N= 49

他の主な所持資格(5名以上)

キャリアコンサルタント、衛生管理者、簿記、社会保険労務士、基本情報技術者、語学検定、技能士（オフィス、サービス関連分野）、普通自動車免許（二種）、宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 34.7%

検討中 34.7%

N=49

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=44

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
31.8%	29.5%	27.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや男性が多い。取得時期は9割弱が在職時。取得動機は3人に2人が「自分の勉強や自己啓発」、次いで「仕事の範囲を広げたい」が4割強。資格の魅力・メリットとして3人に2人が「適性や志向に合う」をあげる。主な勉強方法は半数強が「業界団体等の講習会」。課題は「仕事との両立」。資格取得により「職場外のネットワークが広がった」とする比率、新たな資格取得に向けて勉強中の人の割合が比較的高い。総合的評価としては「非常によかった」と「どちらかというプラス」それぞれ3分の1強。

キャリアコンサルタント

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	76.7	女性	23.3						
年齢	20代	2.3	30代	4.7	40代	25.6	50代	30.2	60代以上	37.2
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	7.0	大学卒	74.4	大学院卒	9.3	その他	4.7
就業状態	雇用者	69.8	(正規比率	40.0)	自営	18.6	不就業	11.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	79.1%	4.7%	14.0%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=43

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため	それまでと違う仕事を したいと思ったから
34.9%	34.9%	27.9%	25.6%	23.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.0%	7.0%	65.1%	37.2%	9.3%	27.9%	30.2%	14.0%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
53.5%	14.0%	11.6%	11.6%	2.3%	18.6%	25.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
11.6%	37.2%	32.6%	11.6%	7.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.7%	41.9%	7.0%	11.6%	18.6%	4.7%	-	11.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.7%	2.3%	20.9%	46.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
34.9%	30.2%	23.3%	18.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=34

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
23.5%	38.2%	-	23.5%	14.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=34

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.9%	14.7%	-	14.7%	2.9%	38.2%	44.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=34

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	5.9%	94.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
27.9%	51.2%	14.0%	7.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=34

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.4%	23.5%	2.9%	-	20.6%	-	11.8%	2.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.1%

N= 43

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、語学検定、衛生管理者、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、技能士(オフィス、サービス関連)、IT企業の能力認定、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 16.3%

検討中 20.9%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=38

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
34.2%	26.3%	21.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約3:1。本調査では高年齢層が多い。雇用者の正規比率は低い。資格取得時期は在職時が約8割。資格取得動機は3人に1人が「仕事上有利」「自分の勉強や自己啓発」をあげる。資格の魅力・メリットは3人に2人が「経験や知識を活かせる」で突出している。主な勉強方法は「資格取得スクール」が約4割。資格取得による変化としては4割弱の人が「職場外のネットワークが広がった」をあげている。社内の処遇や収入面での変化は小さい。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

通関士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (53人)

性別	男性	66.0	女性	34.0						
年齢	20代	1.9	30代	15.1	40代	49.1	50代	20.8	60代以上	13.2
学歴	高校卒	11.3	短大・専修等卒	15.1	大学卒	66.0	大学院卒	-	その他・不明	7.5
就業状態	雇用者	71.7	(正規比率	81.6)	自営	11.3	不就業	17.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=53

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.5%	79.2%	5.7%	7.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=53

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため	より高度な仕事をし たいと思ったから
47.2%	34.0%	28.3%	24.5%	24.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=53

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
17.0%	20.8%	47.2%	24.5%	9.4%	5.7%	3.8%	9.4%

④学習を始める前の準備

MA N=53

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
45.3%	15.1%	13.2%	3.8%	-	13.2%	24.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=53

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
5.7%	26.4%	24.5%	24.5%	15.1%	3.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=53

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.8%	15.1%	1.9%	1.9%	20.8%	9.4%	-	45.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=53

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	9.4%	-	7.5%	71.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=53

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
60.4%	34.0%	18.9%	13.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=42

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.4%	35.7%	4.8%	14.3%	21.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=42

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
14.3%	11.9%	14.3%	9.5%	31.0%	2.4%	4.8%	47.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=42

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.5%	7.1%	26.2%	2.4%	59.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=53

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
28.3%	49.1%	11.3%	11.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=41

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
24.4%	17.1%	14.6%	14.6%	4.9%	4.9%	2.4%	7.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.1%

N= 53

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、衛生管理者、危険物取扱者、宅地建物取引主任者、旅行業務取扱管理者、フォークリフト技能者、大型自動車免許、日商P C検定、社会保険労務士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.2%

検討中 32.1%

N=53

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=44

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
40.9%	25.0%	13.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約2:1。雇用者の正規比率が高い。資格取得時期は在職時が8割。資格取得動機は「仕事上有利」が5割弱、次いで「自分の勉強や自己啓発」。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が5割弱。取得時の課題として、6割の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得の活動を「職場に知られないようにしていた」人が2割を超えるが、取得後は「評価が高まった」、「資格手当がついた」など処遇に一定の反映がみられる。総合評価は「どちらかというプラス」が約半数。

販売士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (90人)

性別	男性	70.0	女性	30.0						
年齢	20代	2.2	30代	22.2	40代	37.8	50代	25.6	60代以上	12.2
学歴	高校卒	18.9	短大・専修等卒	12.2	大学卒	56.7	大学院卒	2.2	その他	10.0
就業状態	雇用者	76.7	(正規比率	83.8)	自営	4.4	不就業	15.6	その他	3.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=90

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.9%	71.1%	1.1%	6.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=90

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	勤め先からの要請や勧奨があったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから
36.7%	34.4%	24.4%	23.3%	18.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=90

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
5.6%	11.1%	43.3%	21.1%	20.0%	7.8%	1.1%	27.8%

④学習を始める前の準備

MA N=90

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
27.8%	5.6%	7.8%	3.3%	1.1%	15.6%	52.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=90

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
44.4%	34.4%	18.9%	1.1%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=90

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
10.0%	1.1%	10.0%	6.7%	22.2%	6.7%	3.3%	37.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=90

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	8.9%	3.3%	26.7%	58.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=90

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
18.9%	14.4%	10.0%	54.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=64

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.5%	53.1%	-	20.3%	10.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=64

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
10.9%	4.7%	7.8%	9.4%	10.9%	-	1.6%	68.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=64

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.8%	6.3%	6.3%	1.6%	82.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=90

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
5.6%	46.7%	25.6%	22.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=47

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
66.0%	10.6%	6.4%	2.1%	2.1%	4.3%	-	4.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.6%

N=90

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、衛生管理者、普通自動車免許(二種)、語学検定、危険物取扱者、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 21.1%

検討中 22.2%

N=90

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=76

販売・営業の職業	事務的職業	管理的職業
36.8%	28.9%	21.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性が7割。雇用者比率、正規比率が高い。資格取得時期は在職時が7割。資格取得動機は3人に1人が「自分の勉強や自己啓発」「仕事上有利」、4人に1人が「勤め先の要請や勧奨」をあげている。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割強。勤務先の要請に応じて取得した人も一定いるが、職場の応援を受けたという人は少なく、処遇等への反映もあまり目立つものがない。総合的判断としては「どちらかというプラス」が半数弱であるが、「非常によかった」は少ない。

消費生活アドバイザー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	34.9	女性	65.1						
年齢	20代	-	30代	14.0	40代	20.9	50代	39.5	60代以上	25.6
学歴	高校卒	14.0	短大・専修等卒	9.3	大学卒	72.1	大学院卒	4.7	その他	-
就業状態	雇用者	69.8	(正規比率	53.3)	自営	9.3	不就業	16.3	その他	4.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.7%	69.8%	9.3%	7.0%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=43

自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上有利、違う仕事をしたい
65.1%	32.6%	30.2%	27.9%	23.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
7.0%	23.3%	60.5%	34.9%	16.3%	11.6%	32.6%	7.0%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
58.1%	18.6%	20.9%	4.7%	-	16.3%	23.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
14.0%	18.6%	34.9%	20.9%	4.7%	7.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
2.3%	2.3%	-	4.7%	55.8%	11.6%	-	23.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	20.9%	67.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

勉強や通学のための時間	仕事との両立	家事、育児など家庭との両立	特にない
30.2%	25.6%	18.6%	25.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=30

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	36.7%	-	20.0%	10.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=30

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	3.3%	13.3%	16.7%	26.7%	6.7%	10.0%	53.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=30

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.0%	-	-	6.7%	83.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
46.5%	39.5%	4.7%	9.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=37

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.9%	13.5%	8.1%	-	10.8%	2.7%	10.8%	2.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.1%

N= 43

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、食品衛生管理者、宅地建物取引主任者、行政書士、販売士、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.3%

検討中 34.9%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=36

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業、サービスの職業
33.3%	25.0%	11.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。資格取得時期は在職時が約7割。取得動機は3人に2人が「自分の勉強や自己啓発」、次いで「いずれ役に立つかも」といった中長期的な目的の人が多。資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」を6割の人があげる。主な勉強方法として、半数強の人が「通信教育」を利用している。職場から応援を受けた人が比較的多く、「評価が高まった」「表彰された」など職場から一定の評価を受けている。総合的評価として「非常によかった」が半数弱。

秘書検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	-	女性	100.0						
年齢	20代	6.3	30代	31.6	40代	50.5	50代	11.6	60代以上	-
学歴	高校卒	8.4	短大・専修等卒	52.6	大学卒	36.8	大学院卒	1.1	その他	1.1
就業状態	雇用者	50.5	(正規比率	35.4)	自営	3.2	不就業	44.2	その他	2.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
71.6%	26.3%	1.1%	1.1%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=95

就職活動に役立てるため	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
46.3%	40.0%	29.5%	18.9%	18.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
5.3%	10.5%	38.9%	50.5%	10.5%	7.4%	2.1%	28.4%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
17.9%	4.2%	2.1%	1.1%	-	11.6%	62.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
54.7%	29.5%	10.5%	4.2%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
23.2%	2.1%	-	-	2.1%	1.1%	-	71.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	1.1%	2.1%	96.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
6.3%	5.3%	5.3%	77.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.0%	20.0%	-	40.0%	16.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.0%	4.0%	16.0%	-	8.0%	-	-	72.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.0%	4.0%	4.0%	-	88.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
8.4%	57.9%	20.0%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=63

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	11.1%	20.6%	-	-	1.6%	6.3%	11.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

6.3%

N= 95

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.2%

検討中 25.3%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=53

事務的職業	サービスの職業	専門的・技術的職業
62.3%	13.2%	11.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査の回答者では女性が100%。不就業が多く、正規雇用比率が低い。現職は6割強が事務的職業に従事。資格取得時期は7割が在学時。取得動機のトップは「就職活動に役立てるため」であり、在学中に就職活動を意識して取得する人が多いことがうかがえる。資格取得時の課題や苦労したことが「特になし」という割合が高い。在職時に取得した人では職場の応援を特に受けていない人が多く、処遇等の変化も小さい。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

医療事務

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	4.2	女性	95.8						
年齢	20代	4.2	30代	36.5	40代	31.3	50代	20.8	60代以上	7.3
学歴	高校卒	35.4	短大・専修等卒	32.3	大学卒	30.2	大学院卒	1.0	その他	1.0
就業状態	雇用者	54.2	(正規比率	25.0)	自営	1.0	不就業	42.7	その他・不明	2.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
12.5%	25.0%	24.0%	26.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	安定した職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため
39.6%	39.6%	27.1%	27.1%	24.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
25.0%	6.3%	18.8%	36.5%	8.3%	31.3%	6.3%	28.1%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
55.2%	14.6%	6.3%	2.1%	-	25.0%	27.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
18.8%	44.8%	26.0%	9.4%	1.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.5%	47.9%	3.1%	3.1%	25.0%	-	-	9.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.2%	1.0%	2.1%	77.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

資格が実際に役に立つか どうかわからない	家事、育児など家庭 との両立	学費、教材費など費用 の負担	特にない
25.0%	24.0%	17.7%	37.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=24

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.5%	20.8%	-	25.0%	37.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=24

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	4.2%	8.3%	-	8.3%	25.0%	4.2%	62.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=24

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.2%	8.3%	8.3%	-	75.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
14.6%	45.8%	29.2%	10.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=58

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.7%	29.3%	3.4%	3.4%	3.4%	1.7%	15.5%	3.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

35.4%

N=96

他の主な所持資格(10名以上)

簿記、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 20.8%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=54

事務的職業	サービスの職業	専門的・技術的職業
63.0%	16.7%	9.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業が多く、正規雇用比率が低い。現職は6割強が事務的職業。取得時期は、「求職活動中」「在職時」、「仕事を辞めて学習に専念」がほぼ同程度となっている。取得動機としても「仕事上有利」と「就職活動に役立てるため」が並ぶ。主な勉強方法は5割近くが「資格取得スクール」。最も多くあがった課題は「資格が実際に役立つかどうかわからない」。在職時に取得した人は、4人に1人が転職している。総合評価は「どちらかというプラス」が多いが、3割は「メリット小」との評価。

語学検定(英検・TOEIC・TOEFL など)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	37.9	女性	62.1						
年齢	20代	4.9	30代	24.3	40代	32.0	50代	22.3	60代以上	16.5
学歴	高校卒	5.8	短大・専修等卒	16.5	大学卒	68.9	大学院卒	3.9	その他	4.9
就業状態	雇用者	51.5	(正規比率	62.3)	自営	9.7	不就業	38.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
48.5%	41.7%	-	1.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	就職活動に役立てるため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから
50.5%	32.0%	14.6%	13.6%	12.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.6%	24.3%	32.0%	31.1%	11.7%	8.7%	1.0%	21.4%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
11.7%	1.0%	2.9%	-	-	8.7%	71.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
43.7%	23.3%	10.7%	9.7%	-	12.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
16.5%	-	-	-	3.9%	1.9%	1.0%	70.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	1.0%	9.7%	85.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

勉強や通学のための時間	仕事との両立	家庭との両立、学習の進め方、実際に役立つか	特にない
17.5%	12.6%	8.7%	57.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=43

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.0%	48.8%	4.7%	20.9%	11.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=43

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.3%	7.0%	2.3%	9.3%	4.7%	4.7%	72.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=43

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.3%	-	-	2.3%	93.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
16.5%	61.2%	5.8%	16.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=80

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
30.0%	23.8%	10.0%	-	2.5%	5.0%	1.3%	12.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

9.7%

N= 103

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人のほとんどは、他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.6%

検討中 24.3%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=63

事務的職業	専門的・技術的職業	販売・営業の職業
36.5%	25.4%	14.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや女性が多い。資格取得時期は在学中が 5 割弱、在職時が 4 割強。取得動機は半数が「自分の勉強や自己啓発」、3 割が「自分の能力や可能性を試したい」であり、主に自己啓発の目標として取り組んでいることがうかがえる。主な勉強方法は「自学自習」が 7 割。職場からも特に応援を受けていないことが多く、取得による処遇等の変化もあまりみられない。総合評価は「どちらかというプラス」が 6 割強。

通訳案内士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (48人)

性別	男性	52.1	女性	47.9						
年齢	20代	-	30代	4.2	40代	29.2	50代	33.3	60代以上	33.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.1	大学卒	70.8	大学院卒	20.8	その他	6.3
就業状態	雇用者	33.3	(正規比率	75.0)	自営	45.8	不就業	16.7	その他	4.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=48

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.8%	62.5%	4.2%	4.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=48

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
50.0%	41.7%	31.3%	22.9%	22.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=48

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.5%	22.9%	70.8%	47.9%	6.3%	20.8%	20.8%	6.3%

④学習を始める前の準備

MA N=48

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
39.6%	16.7%	16.7%	8.3%	-	6.3%	20.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=48

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.3%	14.6%	33.3%	14.6%	10.4%	18.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=48

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.3%	16.7%	-	-	10.4%	-	-	62.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=48

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	2.1%	-	95.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=48

仕事との両立	資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	特にない
25.0%	25.0%	20.8%	35.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=30

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	20.0%	3.3%	43.3%	23.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=30

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	3.3%	10.0%	10.0%	13.3%	66.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=30

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.3%	-	3.3%	13.3%	76.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=48

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.2%	37.5%	16.7%	16.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=32

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.0%	6.3%	-	3.1%	25.0%	6.3%	3.1%	18.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

87.5%

N= 48

他の主な所持資格(3名以上)

語学検定、旅行業務取扱管理者、普通自動車免許(二種)、電気工事士、電気主任技術者、簿記、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 22.9%

N=48

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=40

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
62.5%	22.5%	7.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。自営比率が4割を超える。資格取得時期は在職時が6割強、在学時が2割弱。取得動機は半数が「自分の勉強や自己啓発」、4割が「自分の能力や可能性を試したい」であり、このほか「老後の職業・収入確保に役立つ」をあげる人が2割強いるのが目立つ。2資格取得に要した期間が短期から長期まで分散している。資格取得を職場に知られていない人が多く、職場内の処遇には資格があまり反映されていない。総合的には肯定的評価が多いが、判断がやや分かれている。

旅行業務取扱管理者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (115人)

性別	男性	73.0	女性	27.0						
年齢	20代	-	30代	16.5	40代	31.3	50代	25.2	60代以上	27.0
学歴	高校卒	13.9	短大・専修等卒	16.5	大学卒	60.9	大学院卒	6.1	その他	2.6
就業状態	雇用者	65.2	(正規比率	68.0)	自営	9.6	不就業	23.5	その他・不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=115

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.5%	74.8%	2.6%	3.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=115

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
42.6%	29.6%	28.7%	20.0%	15.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=115

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.3%	7.8%	56.5%	44.3%	7.0%	13.9%	2.6%	12.2%

④学習を始める前の準備

MA N=115

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
38.3%	5.2%	7.0%	1.7%	-	15.7%	39.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=115

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
20.9%	32.2%	28.7%	11.3%	2.6%	4.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=115

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.2%	12.2%	1.7%	13.0%	14.8%	14.8%	0.9%	36.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=115

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	0.9%	0.9%	19.1%	73.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=115

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
30.4%	16.5%	9.6%	50.4%

* 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、旧称の旅行業務取扱主任者を含む。

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.8%	55.8%	2.3%	10.5%	11.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.8%	9.3%	9.3%	-	18.6%	7.0%	-	55.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.5%	4.7%	12.8%	1.2%	80.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=115

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
25.2%	46.1%	15.7%	13.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=82

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.6%	24.4%	8.5%	6.1%	2.4%	4.9%	1.2%	11.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

38.3%

N=115

他の主な所持資格(10名以上)

語学検定、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.8%

検討中 18.3%

N=115

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=87

事務的職業	販売・営業の職業	管理的職業
33.3%	24.1%	14.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が比較的高い。取得時期は4人に3人が在職時。取得動機は「仕事上有利」が4割強で最も多く、次いで「自分の勉強や自己啓発」「勤め先の要請や勸奨」が3割弱。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が6割弱。主な勉強方法として、自学自習のほか、勤務先の勉強会、通信教育、業界団体等の講習会などに回答が分散している。職場からの応援はあまりなく、働き方に大きな変化があった人は少ない。総合評価は7割が肯定的判断。

司書

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (105人)

性別	男性	29.5	女性	70.5						
年齢	20代	2.9	30代	20.0	40代	28.6	50代	37.1	60代以上	11.4
学歴	高校卒	1.9	短大・専修等卒	22.9	大学卒	69.5	大学院卒	5.7	その他	-
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	43.3)	自営	2.9	不就業	36.2	その他・不明	3.8

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=105

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
73.3%	18.1%	3.8%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=105

資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	就職活動に役立てるため
42.9%	32.4%	28.6%	21.0%	18.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=105

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
3.8%	3.8%	37.1%	57.1%	1.9%	17.1%	12.4%	24.8%

④学習を始める前の準備

MA N=105

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
40.0%	13.3%	5.7%	3.8%	1.0%	8.6%	50.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=105

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
11.4%	3.8%	10.5%	38.1%	15.2%	21.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=105

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
86.7%	1.9%	-	3.8%	4.8%	-	-	1.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=105

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	4.8%	4.8%	88.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=105

勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	学費、教材費など費用の負担	特にない
17.1%	12.4%	11.4%	58.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=19

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
9	3	-	3	2

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=19

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	1	4	-	4	3	2	9

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=19

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1	2	1	14

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=105

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.3%	30.5%	21.0%	14.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
55.9%	16.2%	1.5%	4.4%	1.5%	4.4%	8.8%	1.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

29.5%

N= 105

他の主な所持資格(3名以上)

小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.9%

検討中 16.2%

N=105

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=64

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業、その他の職業
37.5%	32.8%	7.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比 3:7 で女性が多い。不就業が多く、正規雇用比率が低い。資格取得時期は 7 割強が在学時。資格取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が 4 割強、次いで「自分の勉強や自己啓発」が 3 割強。資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が 6 割強。総合的評価としては 3 人に 1 人が「非常によかった」、「どちらかというとプラス」も 3 割強であり、全体として肯定的判断が多いが、「メリット小」も 2 割あり、評価がやや分かれている。

学芸員

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	27.1	女性	72.9						
年齢	20代	6.3	30代	42.7	40代	25.0	50代	17.7	60代以上	8.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.1	大学卒	71.9	大学院卒	15.6	その他	10.4
就業状態	雇用者	56.3	(正規比率	61.1)	自営	4.2	不就業	36.5	不明	3.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
92.7%	6.3%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	自分の能力や可能性を試したかったから	就職活動に役立てるため
55.2%	47.9%	24.0%	20.8%	19.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
1.0%	3.1%	35.4%	60.4%	1.0%	13.5%	17.7%	27.1%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
31.3%	15.6%	1.0%	-	1.0%	4.2%	60.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.1%	1.0%	4.2%	27.1%	30.2%	34.4%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
97.9%	-	-	-	-	1.0%	-	-

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	10.4%	1.0%	88.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
25.0%	11.5%	9.4%	58.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	5	-	-	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	1	-	-	-	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	1	5

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
6.3 %	41.7 %	18.8 %	33.3 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
60.9 %	10.9 %	-	2.2 %	2.2 %	-	4.3 %	8.7 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.3%

N= 96

他の主な所持資格(6名以上)

司書、普通自動車免許(二種)、簿記、秘書検定、語学検定、小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.4%

検討中 20.8%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	事務的職業	販売・営業の職業
41.4 %	32.8 %	8.6 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比おおよそ 3:7 で女性が多い。不就業が多い。資格取得時期は在学時が 9 割を超える。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が 5 割強、「いずれ何かの役に立つかも」が 5 割弱と、中長期的な目的で取得した人が多い。資格の魅力・メリットとして 6 割が「適性や志向に合う」をあげる。総合的評価は「非常によかった」が少なく、「どちらかというプラス」を含めても肯定的評価が半数に届かず、3 人に 1 人は「まだ判断できない」と評価を保留している。

幼稚園教諭

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	1.0	女性	99.0						
年齢	20代	3.0	30代	16.2	40代	33.3	50代	35.4	60代以上	12.1
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	67.7	大学卒	32.3	大学院卒	-	その他	-
就業状態	雇用者	37.4	(正規比率	27.0)	自営	1.0	不就業	56.6	その他・不明	5.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
92.9%	6.1%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	就職活動に役立てるため	自分自身の勉強や自己啓発のため
59.6%	21.2%	17.2%	16.2%	12.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.1%	6.1%	28.3%	50.5%	4.0%	6.1%	12.1%	15.2%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
43.4%	11.1%	5.1%	2.0%	-	2.0%	42.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.0%	1.0%	3.0%	38.4%	29.3%	24.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
93.9%	-	-	-	2.0%	-	-	-

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	10.1%	1.0%	84.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
18.2%	13.1%	5.1%	68.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	2	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	1	2	-	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	1	-	3

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
27.3 %	47.5 %	18.2 %	7.1 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=74

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.9 %	10.8 %	6.8 %	1.4 %	-	2.7 %	18.9 %	10.8 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.6%

N= 99

他の主な所持資格(26名以上)

小学校教諭、保育士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.1%

検討中 12.1%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=39

専門的・技術的職業	事務的職業	販売・営業の職業
48.7 %	20.5 %	12.8 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業が半数を超え、雇用者の正規比率も低い。取得時期は在学時が9割を超える。取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が6割。資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が5割で最も多い。仕事に就くために資格取得した人が6割に達するにもかかわらず現状は不就業が多いが、総合的評価としては4人に3人が肯定的判断をしている。よかったと思う点として2割の人が「社会貢献ができること」をあげるなど、就業以外の面からの評価も含むものであることがうかがえる。

小学校教諭

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (91人)

性別	男性	37.4	女性	62.6						
年齢	20代	2.2	30代	6.6	40代	30.8	50代	31.9	60代以上	28.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	6.6	大学卒	84.6	大学院卒	3.3	その他	5.5
就業状態	雇用者	60.4	(正規比率	54.5)	自営	1.1	不就業	35.2	その他・不明	3.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=91

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
84.6%	9.9%	3.3%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=91

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	自分の能力や可能性を試したかったから	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上有利、就職活動
75.8%	26.4%	14.3%	9.9%	8.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=91

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.8%	24.2%	40.7%	47.3%	1.1%	11.0%	18.7%	11.0%

④学習を始める前の準備

MA N=91

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.6%	4.4%	5.5%	3.3%	-	4.4%	37.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=91

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.2%	6.6%	7.7%	12.1%	7.7%	62.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=91

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
81.3%	-	-	-	4.4%	-	-	9.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=91

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.1%	19.8%	-	78.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=91

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
19.8%	16.5%	6.6%	70.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=9

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
6	1	1	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=9

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	-	-	-	1	2	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=9

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3	-	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=91

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
60.4%	28.6%	9.9%	1.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=81

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
33.3%	17.3%	3.7%	3.7%	7.4%	6.2%	18.5%	7.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

51.6%

N= 91

他の主な所持資格

中学校・高等学校教諭(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.7%

検討中 11.0%

N=91

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
62.1%	20.7%	6.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が多い。取得時期は在学時が多いが、1割の人は在職時に取得している。資格取得動機は4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」、次いで「安定した職業に就くため」。資格の魅力・メリットとして半数弱の人が「適性や志向に合う」をあげている。総合的評価としては、6割が「非常によかった」としており、「どちらかというとプラス」と合わせて9割が肯定的判断となっている。

臨床心理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (50人)

性別	男性	30.0	女性	70.0						
年齢	20代	10.0	30代	48.0	40代	28.0	50代	10.0	60代以上	4.0
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.0	大学卒	14.0	大学院卒	80.0	その他	4.0
就業状態	雇用者	92.0	(正規比率	54.3)	自営	6.0	不就業	2.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=50

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
12.0%	78.0%	8.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=50

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから
50.0%	50.0%	38.0%	32.0%	22.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=50

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
18.0%	28.0%	66.0%	52.0%	-	24.0%	34.0%	2.0%

④学習を始める前の準備

MA N=50

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
50.0%	16.0%	24.0%	14.0%	2.0%	22.0%	20.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=50

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.0%	6.0%	12.0%	12.0%	16.0%	48.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=50

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
28.0%	-	-	-	4.0%	2.0%	8.0%	56.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=50

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.0%	30.0%	2.0%	64.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=50

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
58.0%	38.0%	30.0%	12.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=39

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.8%	43.6%	2.6%	23.1%	17.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=39

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.8%	7.7%	5.1%	-	33.3%	23.1%	12.8%	41.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=39

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.1%	17.9%	15.4%	15.4%	59.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=50

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
60.0%	32.0%	4.0%	4.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.7%	17.4%	4.3%	2.2%	8.7%	4.3%	10.9%	2.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.0%

N= 50

他の主な所持資格(4名以上)

小学校教諭、精神保健福祉士、普通自動車免許(二種)、語学検定、司書

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.0%

検討中 24.0%

N=50

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=49

専門的・技術的職業	サービスの職業	その他の職業
79.6%	8.2%	6.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は3:7。雇用者比率が高く、正規比率はやや低い。取得時点は在職時が8割弱。取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」と「仕事上有利」が5割。資格の魅力・メリットは3人に2人が「経験や知識を活かせる」。3割が奨学金を利用。課題は6割の人が「仕事との両立」をあげる。在職中に資格取得した人は、「転職」、「基本給のアップ」、「副収入を得る」など処遇等に一定程度結びついている。総合的判断としては6割が「非常によかった」とし、全体で9割が肯定的判断。

専門職大学院学位

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (57人)

性別	男性	82.5	女性	17.5						
年齢	20代	3.5	30代	15.8	40代	31.6	50代	17.5	60代以上	31.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	3.5	大学院卒	89.5	その他	7.0
就業状態	雇用者	61.4	(正規比率	85.7)	自営	10.5	不就業	24.6	不明	3.5

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=57

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
43.9%	38.6%	15.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=57

自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	資格が必要な職業に就くため
43.9%	26.3%	24.6%	19.3%	17.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=57

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.3%	31.6%	35.1%	28.1%	3.5%	21.1%	10.5%	-

④学習を始める前の準備

MA N=57

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
22.8%	1.8%	8.8%	5.3%	-	10.5%	50.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=57

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.8%	-	1.8%	14.0%	28.1%	54.4%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=57

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
70.2%	1.8%	-	-	-	3.5%	-	19.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=57

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	43.9%	3.5%	47.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=57

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間、実際に役に立つかどうか	特にない
26.3%	22.8%	15.8%	28.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
18.2%	36.4%	18.2%	13.6%	9.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.5%	9.1%	9.1%	-	36.4%	9.1%	4.5%	31.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.1%	13.6%	4.5%	-	72.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=57

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
33.3%	38.6%	21.1%	7.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=41

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
19.5%	22.0%	9.8%	2.4%	12.2%	4.9%	12.2%	7.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

56.1%

N= 57

他の主な所持資格(4名以上)

語学検定、薬剤師、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.5%

検討中 19.3%

N=57

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=41

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
75.6%	14.6%	4.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。働きながら学位を取得した人が4割弱。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が4割強。資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」「社会的評価が高い」など。4割超が奨学金を利用。在職者の場合、「あまり歓迎される雰囲気ではなかった」とする回答が2割弱あり、他と比較して高い。しかし、資格取得により「評価が高まった」とする割合も4割弱と高い。総合的判断としては3人に1人が「非常によかった」、「どちらかというプラス」も4割弱あり、全体として肯定的判断。

【WEB モニター調査票】

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、職業資格の取得とキャリア形成の実態を把握するため、独立行政法人労働政策研究・研修機構(※)が、厚生労働省の要請を受けて行っております。資格取得の支援に向けた労働政策の検討のための基礎資料とすることを目的に実施するものです。あなたの経験を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

1. この調査は、別表でお示しする職業資格をお持ちか、または職業資格の取得を考えておられる25歳以上の方に、ご回答をお願いしております。
2. 特にことわりのない場合、調査の回答時点は、2014年3月1日現在でお答えください。
3. この調査票にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個人名が特定されることはありません。研究目的にのみ利用されますので、ありのままをご記入ください。

(スクリーニング調査)

S1. あなたの現在(2014年3月1日時点)の年齢をおうかがいします。

歳 → 25歳未満は調査終了、それ以外の方はS2へ

S2. あなたが現在お持ちの免許・資格を、ボタンを押して選択してください。複数の資格をお持ちの方は、お持ちの免許・資格すべてについてチェックを入れてください。

免許・資格一覧表

- 一覧表の免許・資格を1つ所持している → 本調査へ(各資格200サンプルに達した時点で調査終了)
- 複数の免許・資格を所持している → S3へ
- 一覧表の免許・資格を所持していない → S4へ

S3. 所持されている免許・資格について、あなたが仕事をする上で重要と考える順に3つまで選択してください。

→ 最も重要と考える資格について本調査へ
 該当資格のサンプル数が上限に達し、調査終了となっている場合は、重要な順に次の順位の資格を選択し、本調査へ

S4. 今後、何らかの職業資格を取得したいと考えていますか。

- いる → 問24へ(1,000サンプルに達した時点で調査終了)
- ない → 調査終了

(本調査)

◇ あなたには、「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」についてお伺いします。

I 職業資格を取得したときの状況についておうかがいします。

問1 資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定〇点など、レベルやスコア、専門分野などが付記されている場合は、それも含めてお書きください。)

資格名称：

問2 資格を取得したのはいつですか。

(西暦) 年

問3 それは在学中ですか、仕事を始めてからですか。(ひとつだけ)

1. 在学中あるいは卒業直後に取得
2. 働きながら資格を取得
3. それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得
4. 求職活動をしながら資格を取得(職業訓練を受講した場合を含む)
5. その他【 】

問4 資格を取得しようと思った動機は何ですか。(いくつでも)

1. 資格が必要な職業に就くため
2. 安定した職業に就くため
3. 仕事上、資格があるほうが有利だから
4. 就職活動に役立てるため
5. より高い収入を得るため
6. 会社で昇進・昇格ができるから
7. それまでと違う仕事をしたいと思ったから
8. より高度な仕事をしたいと思ったから
9. 仕事の範囲を広げたいと思ったから
10. 勤め先からの要請や勸奨があったから
11. 肩書きや呼称があるとよいと思ったから
12. 自分自身の勉強や自己啓発のため
13. 将来の転職のため
14. 将来の独立のため
15. 老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
16. 自分の能力や可能性を試したかったから
17. いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
18. その他【 】

問5 その資格を選んだのは、どのような点に魅力やメリットを感じたからですか。(いくつでも)

1. 将来性がある
2. 社会的評価が高い
3. 自分の経験や知識を活かせる
4. 自分の適性や志向に合っている
5. つぎの資格取得のステップになる
6. 自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ
7. 社会や地域に貢献できる
8. 取得が比較的容易である
9. その他【 】

問11 資格を取得するために、金銭的な面でどのような支援を利用しましたか。(いくつでも)

1. 教育訓練給付金を利用した
2. 受講料が無料あるいは実費負担の公的職業訓練（公共職業訓練、求職者支援訓練など）を利用した
3. 学校、団体、公的機関などからの奨学金を利用した
4. 勤務先の補助や貸付など費用に関する支援制度を利用した
5. その他【 】
6. 利用していない

問12 資格の取得に関して、課題となったこと、苦労したことがありますか。(いくつでも)

1. 学費、教材費など費用の負担
2. 勉強や通学のための時間
3. 仕事との両立
4. 家事、育児など家庭との両立
5. 学習内容や学習の進め方がよくわからない
6. 資格が実際に役に立つかどうかわからない
7. 近くに適当な学校・教育訓練機関がない
8. 学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない
9. 相談相手やアドバイザーがない
10. その他【 】
11. 特にない

II 職業資格を取得したことによる影響や、資格に対する考え方についておうかがいします。

<問13～18は問3＝2の方のみ>

【在職中に「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」の資格を取得した方におうかがいします。】

問13 勤務先には、資格を取得するために利用できる支援制度がありましたか。(それぞれひとつずつ)

有 無

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【 】

<問13に「ある」と回答した項目のみ>

問13-1 (勤務先の資格を取得するために利用できる支援制度があった方へ)あなたは、その支援を利用しましたか。(それぞれひとつずつ)

利用した 利用しなかった

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【 】

問14 勤務先にどのような制度や配慮があれば、資格取得に役立つと思いますか。(いくつでも)

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【
9. 特に役立つものはない

】

問15 資格取得のための活動をしていることへの、職場の対応はどうでしたか。(ひとつだけ)

1. 積極的に応援してくれた
2. 特別の対応はなかった
3. あまり歓迎される雰囲気ではなかった
4. 資格取得をめざしていることは周囲に知られていなかった
5. 資格取得の活動が職場に知られないようにしていた
6. その他【

】

問16 資格を取ったことにより、働き方や処遇に変化がありましたか。(いくつでも)

1. 社内で昇進・昇格に結びついた
2. 資格を活かすことができる部署・担当に異動した
3. 社内で担当分野が広がった
4. 職場で表彰された
5. 周囲からの評価が高まった
6. 転職あるいは独立した
7. 職場外のネットワークが広がった
8. その他【
9. 特に変化はない

】

問17 資格を取ったことにより、収入面で変化がありましたか。(いくつでも)

1. 勤務先から祝い金や報奨金が出た
2. 基本給がアップした
3. 資格手当がつくようになった
4. 資格を所持していることに伴う活動（例えば副業や講演、著作など）によって副収入が得られた
5. その他【
6. 特に変化はない

】

問18 資格を取ったことに関連して、中長期的な職業生活設計の見直しを希望しましたか。(いくつでも)

1. 社内で資格を活かした仕事をする
2. 部署の異動や担当分野の変更・拡大
3. 資格を活かせる会社に転職
4. 独立、自営
5. 関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げること
6. より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること
7. 資格を活かして社会貢献すること
8. その他【
9. 特に見直したいと思ったことはない

】

<問21～22はスクリーニング回答数≧1の方>

【職業資格を所持されている方全員におうかがいします】

問21 お答えいただいた資格「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」と関連のある仕事に就いている(いた)期間は、資格取得前後を通算してどれくらいあります(ありました)か。(ひとつだけ)

1. 全くない
2. 1年未満
3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満
6. 10年以上

問22 自分がその資格を取得したことについて、総合的に判断して、どのように評価していますか。(ひとつだけ)

1. 非常によかった、メリットが大きかった → 問22-1 へ
2. どちらかというプラスになった → 問22-1 へ
3. かかったコストや時間のわりに、あまりメリットはなかった
4. まだ判断できない

<問22-1は問22=1または2の方のみ>

問22-1 資格を取得して最もよかったと思うのはどのような点ですか。(ひとつだけ)

1. 専門能力や知識が向上したこと
2. 対応できる仕事の範囲が広がったこと
3. 職場での評価や処遇が高まったこと
4. 収入が増加したこと
5. 人的ネットワークが広がったこと
6. 職業生活設計の選択肢が広がったこと
7. 資格を活かした社会貢献ができること
8. 将来への備えとして安心感が持てること
9. その他【

】

<全員の方へ>

問23 今後、新たな資格を取得することを予定していますか。(いくつでも)

1. 新たな資格取得に向けて勉強中 → 問23-1 へ
2. 新たな資格を取得することを検討中 → 問23-2 へ
3. 現時点で予定はない → 問29 へ

<問23-1は問23=1のみ>

問23-1 勉強中の新たな資格はどのような資格ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも)

免許・資格一覧表

9999 上記以外の免許・資格

問23-1-1 勉強中の資格について、資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

具体的な資格名称：

<問23-2は問23=2の方のみ>

問23-2 検討中の新たな資格はどのような資格ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも)

免許・資格一覧表

9999 上記以外の免許・資格

問23-2-1 検討中の資格について、資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

具体的な資格名称：

<問23-3は問23=1または2の方のみ>

問23-3 新たな資格の取得を考えるのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

1. より高度な専門性を身につけたいから
2. より広い分野の仕事に対応できるようになりたいから
3. 職場での評価や人事処遇を高めたいから
4. 収入を増やしたいから
5. 自分のエンプロイアビリティ（雇用されうる能力、就業可能性）への自信を高めたいから
6. 独立したいから
7. 自分の新たな可能性にチャレンジしたいから
8. 現在の資格だけではキャリアプランの実現に十分ではないから
9. その他【

】 → 問29へ

<問24～28はスクリーニング回答数=0の方のみ>

【これから職業資格を取得したいと考えておられる方におうかがいします。】

問24 どのような資格を取得したいと考えておられますか。(いくつでも)

免許・資格一覧表 から選択

<問24-1は問24の回答のみ表示>

問24-1 最も取得したいと考える資格を1つ選んでください。(ひとつだけ)

問24-2 最も取得したいと考える資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

資格名称：

◇ 以下の質問は、ここで選んだ資格「〇〇(問24-1の資格名)」についてお答えください。

問25 資格を取得しようと思う理由は何ですか。(いくつでも)

1. 資格が必要な職業に就くため
2. 安定した職業に就くため
3. 仕事上、資格があるほうが有利だから
4. 就職活動に役立てるため
5. より高い収入を得るため
6. 会社で昇進・昇格ができるから
7. これまでと違う仕事をしたいから
8. より高度な仕事をしたいから
9. 仕事の範囲を広げたいから
10. 勤め先からの要請や勸奨があるから
11. 肩書きや呼称があるとよいと思うから
12. 自分自身の勉強や自己啓発のため
13. 将来の転職のため
14. 将来の独立のため
15. 老後の職業・収入確保に役立つと思うから
16. 自分の能力や可能性を試したいから
17. いずれ何かの役に立つかもしれないから
18. その他【

】

問26 取得しようとする資格に対して、どのような点に魅力やメリットを感じますか。(いくつでも)

1. 将来性がある
2. 社会的評価が高い
3. 自分の経験や知識を活かせる
4. 自分の適性や志向に合っている
5. つぎの資格取得のステップになる
6. 自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ
7. 社会や地域に貢献できる
8. 取得が比較的容易である
9. その他【

】

問27 資格が取得できたら、職業生活設計にどのように反映させたいですか。(いくつでも)

1. 資格を活かした仕事に就きたい
2. 勤務先で部署の異動や担当分野の変更を希望する
3. 転職したい
4. 独立、自営したい
5. 関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げたい
6. より高度なレベルの資格取得にチャレンジし、専門性を高めたい
7. その他【

】

問28 資格の取得に関して、課題となりそうなこと、心配なことがありますか。(いくつでも)

1. 学費、教材費など費用の負担
2. 勉強や通学のための時間
3. 仕事との両立
4. 家事、育児など家庭との両立
5. 学習内容や学習の進め方がよくわからない
6. 資格が実際に役に立つかどうかわからない
7. 近くに適当な学校・教育訓練機関がない
8. 学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない
9. 相談相手やアドバイザーがない
10. その他【
11. 特にない

】

【全員におうかがいします。】

Ⅲ あなたのお仕事の状況についておうかがいします。

問29 あなたが初めて仕事に就かれたのはいつですか。(学生時代のアルバイトは除きます。仕事に就かれた経験のない方は「なし」を選択してください。)

(西暦) 年

「なし」を選択 → フェイス F1へ

問30 あなたは現在仕事をしておられますか。(学生アルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. 雇用されて働いている
2. 自営、会社経営をしている
3. 家業の手伝いをしている
4. 仕事をしていない

<問30=1の方のみ>

問30-1-1 就業形態は以下のどれにあたりますか。(ひとつだけ)

1. 正社員
2. 契約社員(フルタイム)
3. 嘱託社員(定年退職後の再雇用)
4. パート・アルバイト
5. 派遣社員

問30-1-2 勤務先の業種を一覧表から選択してください。(派遣社員の方は現在の派遣先についてお答えください。)(もっともあてはまるものひとつだけ)

業種一覧

問30-1-3 勤務先(会社全体)の従業員数は何人くらいですか。(派遣社員の方は現在の派遣先についてお答えください。)(ひとつだけ)

1. 100人未満
2. 100人以上300人未満
3. 300人以上1,000人未満
4. 1,000人以上

問30-1-4 現在の勤務先での勤続年数は何年くらいですか。出向中の方は元の勤務先からの通算期間でお答えください。派遣社員の方は、派遣元での雇用契約期間でお答えください。(ひとつだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上

問30-1-5 週平均の労働時間は何時間くらいですか。(ひとつだけ)

1. 20時間未満
2. 20時間以上30時間未満
3. 30時間以上40時間未満
4. 40時間以上

<問30=2の方のみ>

問30-2-1 業種を一覧表から選択してください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

業種一覧

問30-2-2 自営開始(経営者就任)からの年数は何年くらいですか。(ひとつだけ)

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上

問30-2-3 あなたが雇用している従業員はいますか。(ひとつだけ)

1. いる
2. いない

<問30=4の方のみ>

問30-4-1 主にどのような活動をしておられますか。(学生アルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. 就職活動中
2. 就学中
3. 家事
4. ボランティア
5. その他【 】

<問31～33は問30=1～3の方のみ>

問31-1 あなたの現在の職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)
あてはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類

<問31-2は中分類14～18、24のみ>

問31-2 あなたの現在の職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類

問32 「スクリーニング調査からの調査対象資格名」(スクリーニング回答数 ≥ 1 の方)
「これから取得したい資格(問24-1の資格名)」(スクリーニング回答=0の方)
と現在の職業は、どの程度関連性がありますか。(ひとつだけ)

1. 密接に関連している
2. かなり関連性が強い
3. やや関連がある
4. あまり関連がない
5. 全く関連していない

問33 あなたは転職された経験がありますか。(学生時代のアルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. ある
2. ない

<問33-1～2は問33=1の方のみ>

問33-1 あなたは何回転職しましたか。(学生時代のアルバイトは除きます)(ひとつだけ)

→ 約 回

問33-2 転職前(現在の職業の一つ前)の職業を下記から選んでください。
(もっともあてはまるものひとつだけ)
あてはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類

<問33-3は中分類14～18、24のみ>

問33-3 転職前(現在の職業の一つ前)の職業を下記から選んでください。
(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類

<問34～35は問30=4の方のみ>

問34-1 仕事に就いた経験のある方は、直近の仕事で従事されていた職業を下記から選んでください。ない方は「なし」を選んでください。(学生時代のアルバイトは除きます)(もっともあてはまるものひとつだけ) 当てはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類 職業一覧中分類 99 仕事に就いたことはない

<問34-2は中分類14～18、24のみ>

問34-2 あなたの直近の仕事で従事されていた職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類 職業一覧小分類

問35 今後、資格を活かした仕事に就くことを希望しておられますか。(ひとつだけ)

1. できるだけ早く資格を活かして働きたい
2. 求める条件に合った仕事があれば資格を活かして働きたい
3. 自分が就業可能な状況になれば資格を活かして働きたい
4. 資格に関係なく就業したい
5. 働くことは希望していない
6. その他【

】

IV あなたご自身についておうかがいします。

F1 あなたの性別は。(ひとつだけ)

1. 男性
2. 女性

F2 最後に在籍した(している)学校はどれですか。(ひとつだけ)

1. 中学校
2. 高校
3. 専修学校
4. 各種学校
5. 短大・高専
6. 大学
7. 大学院(修士)
8. 大学院(博士)
9. 専門職大学院
10. その他【

】

<F2=2 高校の方のみ>

F2-1 高校の学科はどれですか。(ひとつだけ)

普通、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉、その他、総合

< F2-2は、F2=3~9の方のみ >

F2-2 「学校(F2の回答)」の分野はどれですか。(ひとつだけ)

< F2=3~4の方のみ >

工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政 文化・教養、その他

< F2=5の方のみ >

人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、芸術、その他

< F2=6~8の方のみ >

人文科学、社会科学、理学、工学、農学、保健（医・歯学含む）、家政、教育、芸術、その他

< F2=9の方のみ >

ビジネス・技術経営、会計、公共政策、公衆衛生、知的財産、臨床心理、法科大学院、教職大学院、その他

F3 「学校(F2の回答)」を卒業しましたか。(ひとつだけ)

1. 卒業した
2. 中退した
3. 在学中

< F3=1の方のみ >

F3-1 卒業した年は何年ですか。(ひとつだけ)

(西暦) 年

< F3=2の方のみ >

F3-2 中退した年は何年ですか。(ひとつだけ)

(西暦) 年

F4 お住まいの都道府県を選択してください。(ひとつだけ)

1. 北海道・・・47. 沖縄

F5 あなた個人の昨年(2013年1月~12月)の税込み収入はどのくらいですか。(複数の仕事をされている方はその合計をお答えください。)(ひとつだけ)

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 500万円未満
5. 500万円以上 1,000万円未満
6. 1,000万円以上

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

免許・資格一覧

所持されている資格の名称や制度が変更になっている場合は、後継資格または「その他」にチェックしてください。
級や分野などの区分は原則としてまとめていますので、共通部分の名称に基づいて選択してください。

【技能検定、技術士】

- 1101 技能士（ものづくり、工事、整備関連分野）
- 1102 技能士（オフィス、サービス関連分野）
- 1103 技術士

【介護・福祉関連】

- 1201 訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修
- 1202 訪問介護員 1 級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修
- 1203 介護福祉士
- 1204 介護支援専門員（ケアマネージャー）
- 1205 移動支援従業者（ガイドヘルパー）
- 1206 居宅介護従業者（障がい者（児）ホームヘルパー）
- 1207 福祉用具専門相談員
- 1208 精神保健福祉士
- 1209 社会福祉士
- 1210 保育士
- 1211 その他の介護・福祉関係の資格

【医療関連】

- 1301 看護師、准看護師
- 1302 保健師
- 1303 助産師
- 1304 理学療法士
- 1305 作業療法士
- 1306 言語聴覚士
- 1307 視能訓練士
- 1308 臨床検査技師
- 1309 はり師、きゅう師、按摩マッサージ指圧師
- 1310 柔道整復師
- 1311 救急救命士
- 1312 臨床工学技士
- 1313 診療放射線技師
- 1314 歯科衛生士
- 1315 歯科技工士
- 1316 薬剤師
- 1317 登録販売者
- 1318 *医師
- 1319 *歯科医師
- 1320 *獣医師
- 1321 その他の医療保健関連の資格

【生活・衛生関連】

- 1401 栄養士、管理栄養士
- 1402 調理師

- 1403 製菓衛生師
- 1404 理容師
- 1405 美容師
- 1406 *クリーニング師
- 1407 食品衛生管理者
- 1408 色彩検定
- 1409 その他の生活・衛生関連の資格

【製造・安全衛生・車両関連】

- 1501 溶接技能者
- 1502 危険物取り扱い者
- 1503 *有機溶剤作業主任者
- 1504 ボイラー技士
- 1505 安全管理者
- 1506 衛生管理者
- 1507 *公害防止管理者
- 1508 玉掛け技能者
- 1509 フォークリフト技能者
- 1510 クレーン・デリック運転士
- 1511 普通自動車免許（二種）
- 1512 大型自動車免許
- 1513 自動車整備士
- 1514 その他の製造・安全衛生・車両関連の資格（普通自動車免許（一種）二輪免許を除く）

【建築・土木・電気・不動産関連】

- 1601 建築士
- 1602 測量士
- 1603 電気工事士
- 1604 電気主任技術者
- 1605 施工管理技士
- 1606 *建築物環境衛生管理技術者
- 1607 宅地建物取引主任者
- 1608 不動産鑑定士
- 1609 土地家屋調査士
- 1610 マンション管理士
- 1511 その他の建築・土木・電気・不動産関連の資格

【IT・OA関連】

- 1701 *ITパスポート
- 1702 基本情報技術者
- 1703 応用情報技術者
- 1704 日商PC検定
- 1705 IT関連企業の能力認定（JAVAプログラミング能力認定、オラクルマスター、シスコ技術者認定、マイクロソフト・オフィス・スペシャリストなど）
- 1706 その他のIT・OA関連の資格（旧制度の資格を含む）

【経理・財務・法務・労務関連】

- 1801 簿記
- 1802 公認会計士
- 1803 税理士
- 1804 証券アナリスト

- 1805 ファイナンシャル・プランナー
- 1806 中小企業診断士
- 1807 社会保険労務士
- 1808 弁理士
- 1809 司法書士
- 1810 行政書士
- 1811 * 弁護士
- 1812 産業カウンセラー
- 1813 キャリアコンサルタント
- 1814 その他の経理・財務・法務・労務関連の資格

【事務・販売・語学・観光関連】

- 1901 通関士
- 1902 販売士
- 1903 消費生活アドバイザー
- 1904 秘書検定
- 1905 医療事務
- 1906 語学検定（英検・TOEIC・TOEFL など）
- 1907 通訳案内士
- 1908 旅行業務取扱主任者
- 1909 その他の事務・販売・語学・観光関連の資格

【教育関連、その他】

- 2001 司書
- 2002 学芸員
- 2003 幼稚園教諭
- 2004 小学校教諭
- 2005 * 中学校・高等学校教諭
- 2006 その他の教育関連の資格
- 2007 臨床心理士
- 2008 専門職大学院学位

* 印の資格区分については、本調査でサンプルを収集していない。

C事務的職業

- 25 一般事務の職業
- 26 会計事務の職業
- 31 事務用機器操作の職業 (パソコンオペレーター、キーパンチャーなど)
- 27 その他の事務的職業

D販売・営業の職業

- 32 商品販売の職業
- 34 営業の職業
- 33 その他の販売・営業の職業

Eサービスの職業

- 36 介護サービスの職業 (施設介護員、訪問介護員など)
- 37 保健医療サービスの職業 (歯科助手など)
- 38 生活衛生サービスの職業 (理容師、美容師、クリーニング師など)
- 39 飲食物調理の職業
- 40 接客・給仕の職業
- 41 居住施設・ビル等の管理の職業
- 42 その他のサービスの職業

F保安の職業

- 43 保安の職業 (警察官、消防員、自衛官、警備員など)

G農林漁業の職業

- 46 農林漁業の職業

H生産工程の職業

- 52 金属材料製造、金属加工の職業
- 54 製品製造・加工処理の職業 (化学製品、食品、衣服、印刷など金属以外)
- 57 機械組立の職業
- 60 機械整備・修理の職業 (機械器具修理工、自動車整備工など)
- 62 製品検査の職業
- 63 機械検査の職業
- 64 その他の生産工程の職業

I輸送・機械運転の職業

- 65 鉄道運転の職業
- 66 自動車運転の職業
- 67 船舶・航空機運転の職業
- 69 定置・建設機械運転の職業 (ボイラーオペレーター、クレーン運転工など)
- 68 その他の輸送の職業

J建設・採掘の職業

- 71 建設の職業
- 72 電気工事の職業
- 73 土木の職業
- 74 採掘の職業

K運搬・清掃・包装等の職業

- 75 運搬・清掃・包装等の職業
- 99 その他(具体的に:)

小分類(B 1 医療技術者)

- 141 診療放射線技師
- 142 臨床工学技士
- 143 臨床検査技師
- 144 理学療法士
- 145 作業療法士
- 146 視能訓練士、言語聴覚士
- 147 歯科衛生士
- 148 歯科技工士

(B 2 その他の保健医療の職業)

- 151 栄養士、管理栄養士
- 152 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
- 153 柔道整復師
- 159 その他の保健医療の職業

(B 3 社会福祉の専門的職業)

- 161 福祉相談・指導専門員
- 162 保育士
- 169 その他の社会福祉の専門的職業

(B 4 法務の職業)

- 173 弁護士
- 174 弁理士
- 175 司法書士
- 179 その他の法務の職業

(B 5 経営・金融・保険の専門的職業)

- 181 公認会計士
- 182 税理士
- 183 社会保険労務士
- 184 金融・保険専門職
- 189 その他の経営・金融・保険の職業

(B 6 その他の専門的職業)

- 241 司書
- 242 学芸員
- 243 カウンセラー
- 249 その他の専門的職業

JILPT 調査シリーズ No.129

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査
(WEB調査結果の概要)

発行年月日 2014年10月31日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

印刷・製本 有限会社 太平印刷

©2014 JILPT

* 調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)